英雄伝説
空の軌跡SC
ソラノキセキSC
～絆の在り処～
6
漫画 啄木鳥しんき
原作 日本ファルコム

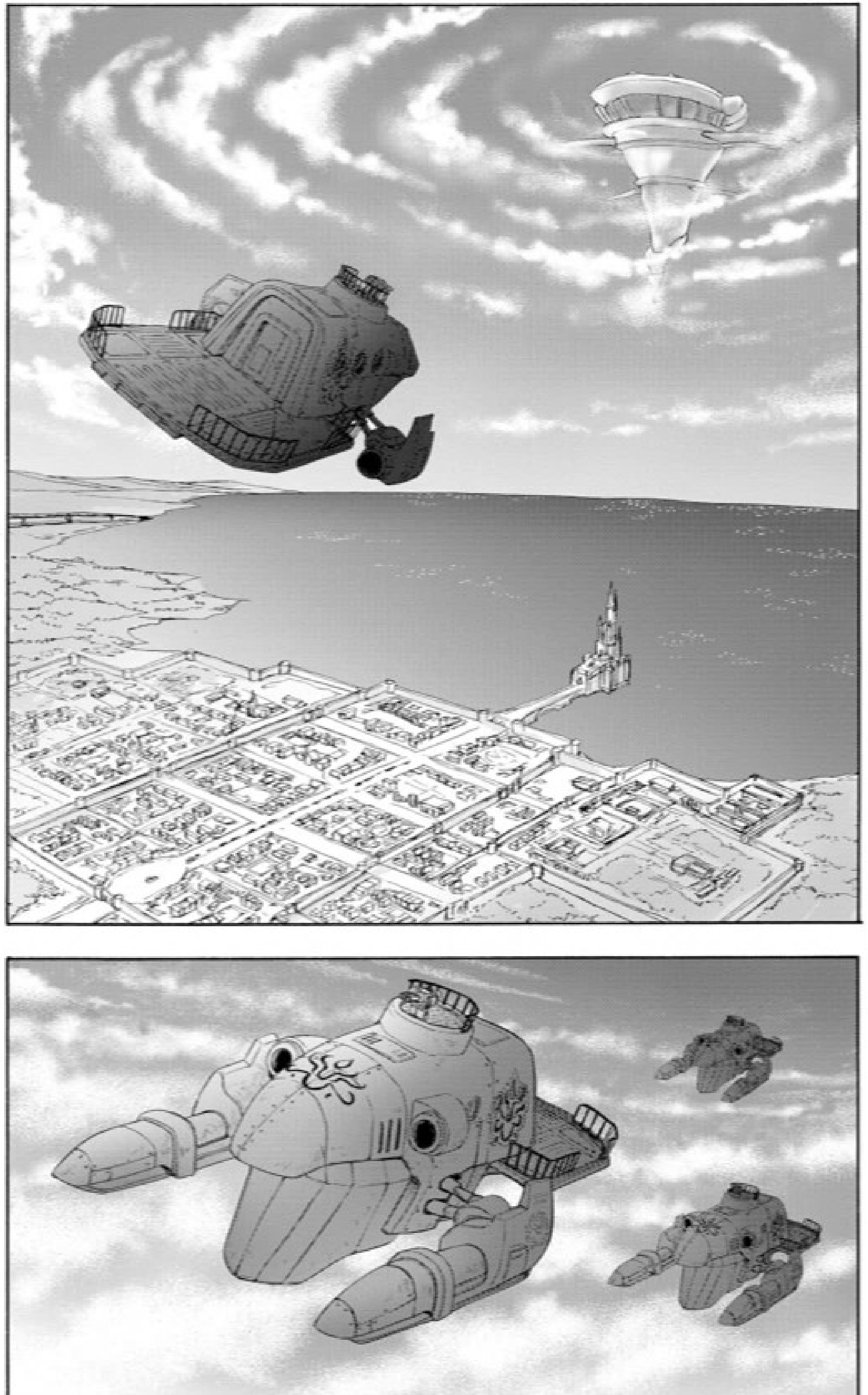
英雄伝説 空の軌跡SC
ソラノキセキSC
～絆の在り処～

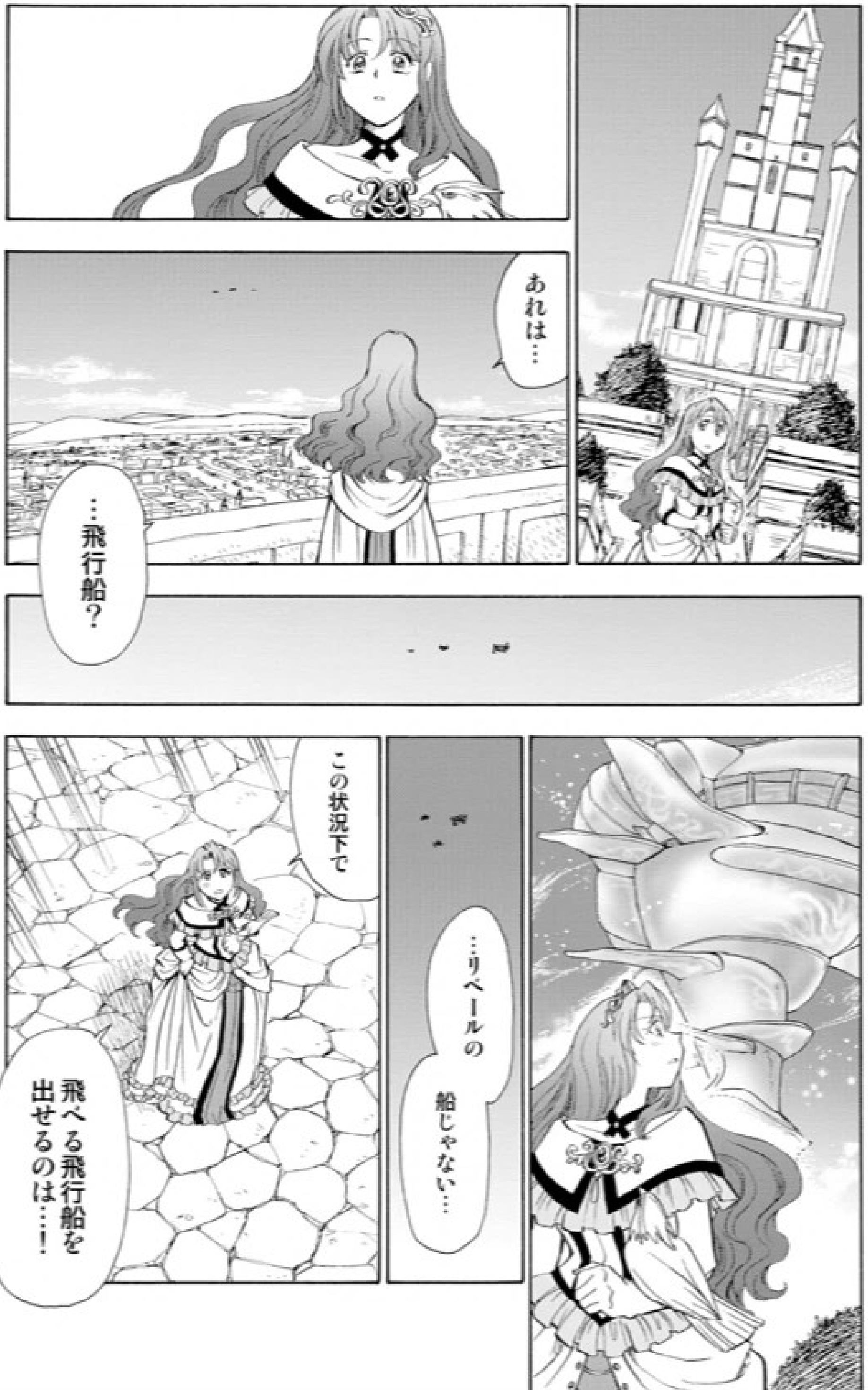
6

漫画 啄木鳥しんき
原作 日本ファルコム

第44話 …………003
第45話 …………016
第46話 …………037
第47話 …………054
第48話 …………072
第49話 …………086
第50話 …………097
第51話 …………116
第52話 …………132
第53話 …………146
第54話 …………163
第55話 …………180

初出
月刊ファルコムマガジンVol.114～124,126掲載




あれは…
…飛行船？
…リベールの船じゃない…
この状況下で
飛べる飛行船を出せるのは…！

おや？
《輝く環(オーリオール)》の出現で
王都は阿鼻叫喚の様相を呈していることだろうと思っていたのだが
なんだぁこりゃ!?
ただの平和な城下町じゃねぇか！
これはまた素敵なお国柄だこと
いいじゃない
こういうのんびりしたところを…

まぁ…
あら？
貴様らは
《身喰らう蛇》だな!?

貴様らがここに現れるだろうことを
我が王国軍は前もって察知していた!!
王都には
一歩たりとも踏み入れさせん!!

フフ
平和ボケした田舎国家とばかり思っていたが
これは我らも少しばかり
敬意を示しておくべきか…
…お初にお目にかかる
我が名は《怪盗紳士》プルプラン
クク…
《痩せ狼》ヴァルターだ

《幻惑の鈴》ルシオラ
どうかお見知りおきを
《殲滅天使》レンよ
みんなどんな声で鳴いてくれるのかしら
な…名乗りとは悠長な…
…総員構え!!
突撃!!

さて
それではゲームを始めるとしようか
くすくす
それはどうやって遊ぶものなの？

決まってんだろ
王将の首を獲ったもんが勝ちだ!
ふふ
少しは楽しめるといいわね
これより我ら執行者は
グランセル城に向かう!

それから
諸君は
グランセル市街を制圧せよ!

ドオオーン
うふふ
出陣を祝うファンファーレみたいね
ではいざ参ろう！
リベール国王の御座すグランセル城へ！

お祖母様!
リベール上空に飛行船が…
あの機体は…おそらく結社の船です!
早く対策を打たないと…
わかりました よろしくお願いします
はい!!

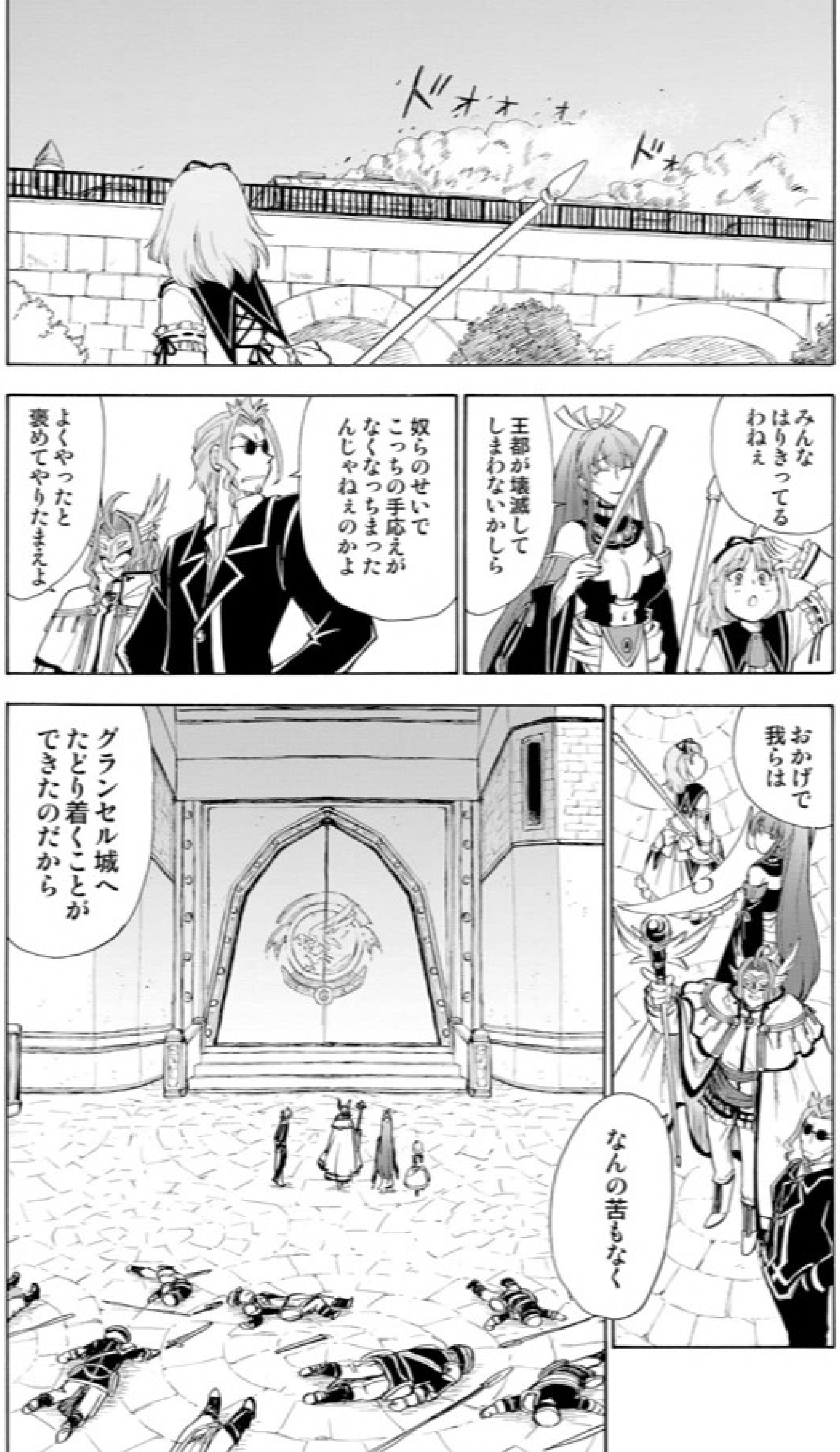
あんですって──っ!
結社が王都に現れたですって!?
予測はしていたけど
本当に行動を起こしてくるなんて
了解した!
では手筈どおりに!!

クローディア
結社の一団が王都に現れました
市民を守る対策は軍に打診をしています
彼らを信じて任せておいて大丈夫です
ただ執行者を名乗る者たちがこちらに向かっているとのこと
城門が破られることはないと思いますが
万一に備えておきましょう
王が落ちれば
国は滅びます
…貴女も心してかかりなさい

ドドドド
ドドドドドド
ひ…
ひどい…

なんで…
こんなことになっちゃってるんですかぁー…
エステルたちが追ってた闇の結社が
とうとう大手を振って現れやがったか！
しかもなんだよ！奴らの武装は！
王国軍は導力兵器が使えねえっていうのに
反則だろ！
このままじゃ王都は制圧されちまうぞ！
…なんとかならねぇのかよ!?
とりあえずりりしいお顔はあとにしてー
わたしたちも逃げましょうよナイアル先輩ー
逃げてどーすんだよ！
せっかく導力カメラが使えるようになったんだ！
この現状撮って撮って撮りまくれ!!
そのことなんですけどー！

この零力場発生器ってやつーー！
ラッセル博士がリベール通信社に特別に提供してくれた秘密兵器ですよねぇー!?
どーん！
そんな大事な物勝手に持ち出したりしていいんですかー!?
あとで絶対編集長に怒られますよぉー!!
…いいかドロシー！
俺たちはジャーナリストだ！
俺たちにはリベール国内の異変を記録し世界へ伝える義務がある！
その為には現場をこの目で見ることと
真実を写し出すおまえの写真が必要不可欠なんだ!!
……
へ…編集長には俺がたっぷり怒られる！
…から……
…先輩こそいい記事頼みますよ！
合点だ！


ドオォォォ
ドォ
みんなはりきってるわねぇ
王都が壊滅してしまわないかしら
奴らのせいでこっちの手応えがなくなっちまったんじゃねぇのかよ
よくやったと褒めてやりたまえよ
おかげで我らは
グランセル城へたどり着くことができたのだから
なんの苦もなく

あら？
でもお城の門が……
閉じちゃってるわね
あらまぁ…立派な城門だこと
これを破るのは骨が折れそうね
でも入口はここだけなんでしょう？
…パテル・マテルならなんとかしてくれるのかしら？
あんなデカブツ呼ばれたらますます楽しみがなくなるだろーが！
だったらどうするの？
要は通れるようにすりゃあいいんだろ

すごいわ！ヴァルター
泰斗流奥義寸勁ね
あいかわらず見事な技だ
大道芸みたいなもんさ
さて奥のもう一枚も
いくとするか
まさかこんなに早く城にたどり着くなんて
城門ももう保たんか…
…ユリアがおらぬ今
ここの指揮は私に任せてもらおう…
え!?
ヒルダ女官長！
クローディア!!
い…急いで
アリシア陛下を女王宮にお連れするがいい!!

お…小父様？
きゃつらは陛下の…
女王の身柄を奪おうとしているのだぞ!?
グズグズするな！
リベールの権威が不穏の輩に侵されるなど断じてあってはならぬ!!
で…でしたら私もここで
まだわからんのか！クローディア！
己が王太女であることの意味が！
今そなたが優先すべきは
女王陛下と！
そなた自身を守ることだ!!
王位継承権を持つ者として
「リベール王国」を守ることのできる人間として
己の使命を全うするがよい
小娘！
お祖母様！
ヒルダさん！
急いで女王宮へ向かいましょう！
デュナン

くれぐれも
無事で…！
心配ご無用！
はっはっは
神をも恐れぬ狼藉者など返り討ちにしてご覧に入れよう！
はっはっは！
はっはっはっはっ
はぁ…
あー
閣下
お見事でした
今…この時ほど
閣下にお仕えしてよかったと思ったことはありませんなんだぞ
ふん
大げさなやつめ…

ズオオン!!
き…来よったか…
だ…だがここより先へは一歩も進ませはせぬ！
私自らが盾となりきゃつらの前に立ちはだかって
閣下
私が倒されたらどうか構わずお逃げください

デュナン公爵閣下の執事にして
元・王国軍王室親衛隊大隊長
フィリップ・ルナールと申します
昔とった杵柄…
どこまで通用するかわかりませぬが
せめて一太刀
浴びて頂きますぞ!

フィリップ!!
ああん?
なんだぁ てめぇは?

これは
これは
大層な肩書を
お持ちのようで
そんな御仁でさえ
我らの力量を
見誤るとは…
残念ですな
おや
そうで
ございますか
失礼ながら
皆様からは
凄まじい鬼気を
感じておりますが
人を超越した…
まるで
魔人の如し
ですな
それを
わかっていながら
なにゆえ
我らに刃を
向けるのか
私に振るえる武器が
刃だっただけの
ことでございますよ

私どもは
私どもの
大切な主君を
お護りするために
自らの武器を
以って
敵を
退けるだけで
ございます！
ははは
これは
おもしろい！
その誇り高い
忠義に免じて
少しつきあって
差し上げようか

フッ

ヒュオ
あらあら
どうしたの
ブルブラン
ふふふ
少しは
楽しませて
くれそうね
みなさん！
よい動きです！
なんとしても
ここで
食い止めますぞ!!

フィリップ…
親衛隊も…
皆
リベールの
ために…
なのに…
この私が…
こんなところで
高みの見物か…!
わ…
わ…
私も！
助太刀
するぞ!!

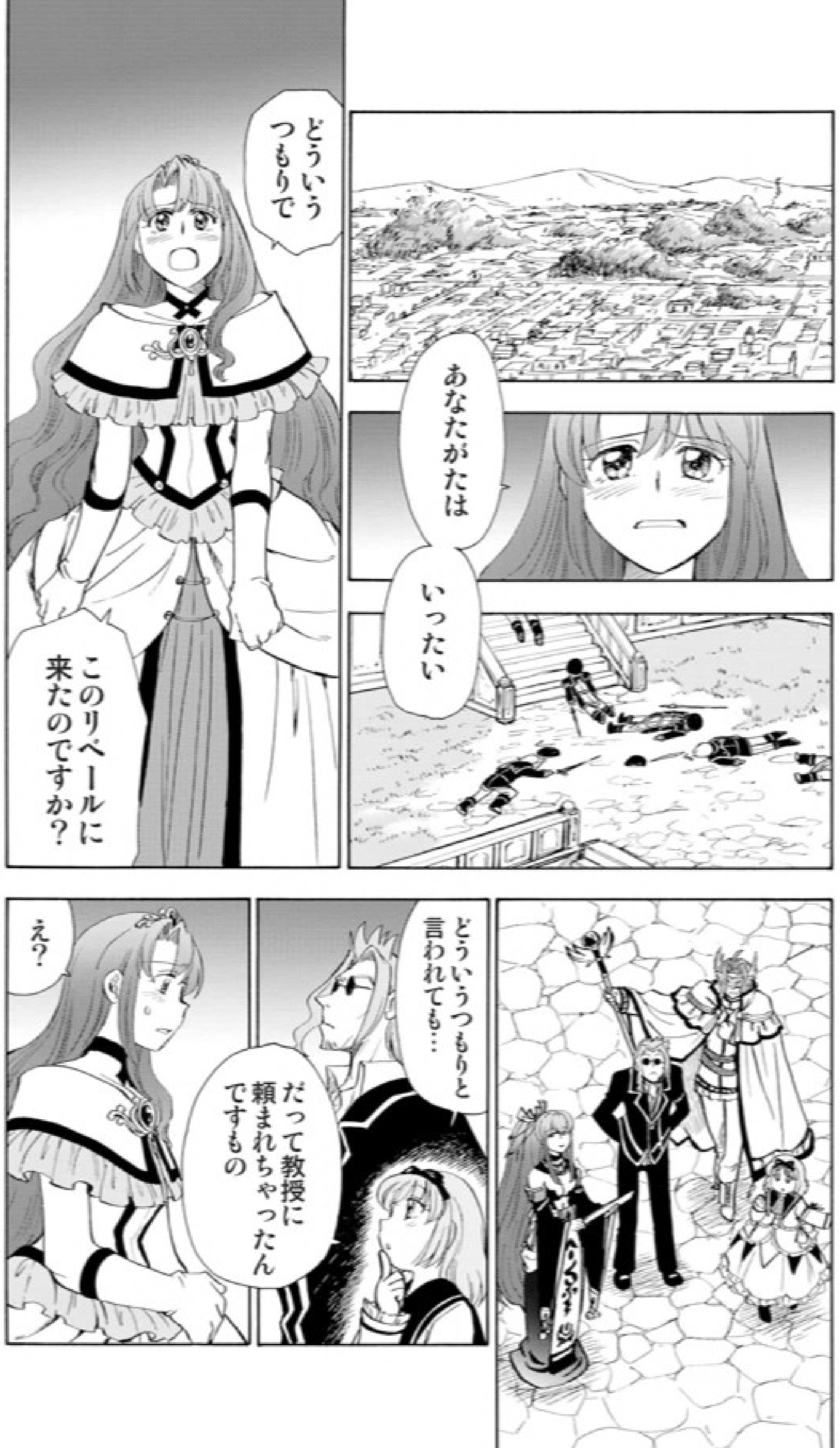
ビュオッ
魔人どもめ！
これ以上の狼藉はこのデュナンが許さぬ！
そっ…
あ
あ
あ〜っ…
閣下…

ちっ…
せっかく歯ごたえのあるジジィだったのによぉ
ごめんなさいね
あまり道草を食いすぎるのも良くあるまい
そろそろ目的を果たしにいこうではないか

お祖母様
急いでください
女王宮に入れば持ちこたえられますから
お祖母様
あと少し…
姫様!

あら
見て
あそこにいるのが女王様じゃないかしら?
いよいよ終点というわけね
そんじゃさっさと片づけちまおうぜ
ヒルダさん
お祖母様を女王宮へ!
それ以上
近寄らないでください!

…あ！
あのお姉さん
エステルと
一緒にいた…!?
おお！
我が麗しの
クローディア姫！
姫？
とても
かわいらしい
お方だこと
学生服も
悪くは
なかったが
貴女の気品を引き立てる
そのドレス姿！
素晴らしく
お似合いですな
あ…
あなたがたは…
いったい…


あなたがたは
いったい
どういう
つもりで
このリベールに
来たのですか？
どういうつもりと
言われても…
だって教授に
頼まれちゃったん
ですもの
え？

みんな思っていた以上に元気がいいから
色々試したくなっちゃったんですって
せっかく苦労して浮遊都市を出現させたのに
この国の人達の反応が教授はお気に召さなかったみたいね
要するに教授はてめぇらが苦しむ姿をもっともっと見たいんだとよ
まぁ我々もヒマだったのでね
ひとつ引き受けさせてもらったのだよ
「リベール王国の王をリベール王国から奪い去る」
…という教授の依頼をね

そ…そんなことのために
このリベールを…
確かに教授は悪趣味だが
頭を狩られた国がどんな風に死んでいくのかを見るのはちっとおもしろそうだと思ってよ
…話はわかりました
ならばわたくしひとりを虜囚にすれば済む事でしょう
これ以上余計な犠牲を出すのはおやめください
いけませんお祖母様!
囚われるならば私が……

ふむ
教授の注文だとお連れするのはおひとりだけでよかったはず
現女王の陛下と次期女王の姫殿下
はてさてどちらにご足労願おうか
お祖母様は
この国のためにやらねばいけないことがたくさんあります
決してあなたがたに囚われるわけにはいきません
それでは姫殿下
貴女様が我々の虜囚となって…
いいえ
…私に流れるリベール王家の血もお祖母様と同じ
このリベール王国を守るためにあるのです
決してあなたがたの戯れ言につきあうためのものではありません
どうぞ
お引き取りを！

言うじゃねぇか
リベール王国を
守る?
自分の身さえ
守れねぇ奴が
何を?
どうするって!?

は!
グッ

ヒュオッ
たっ

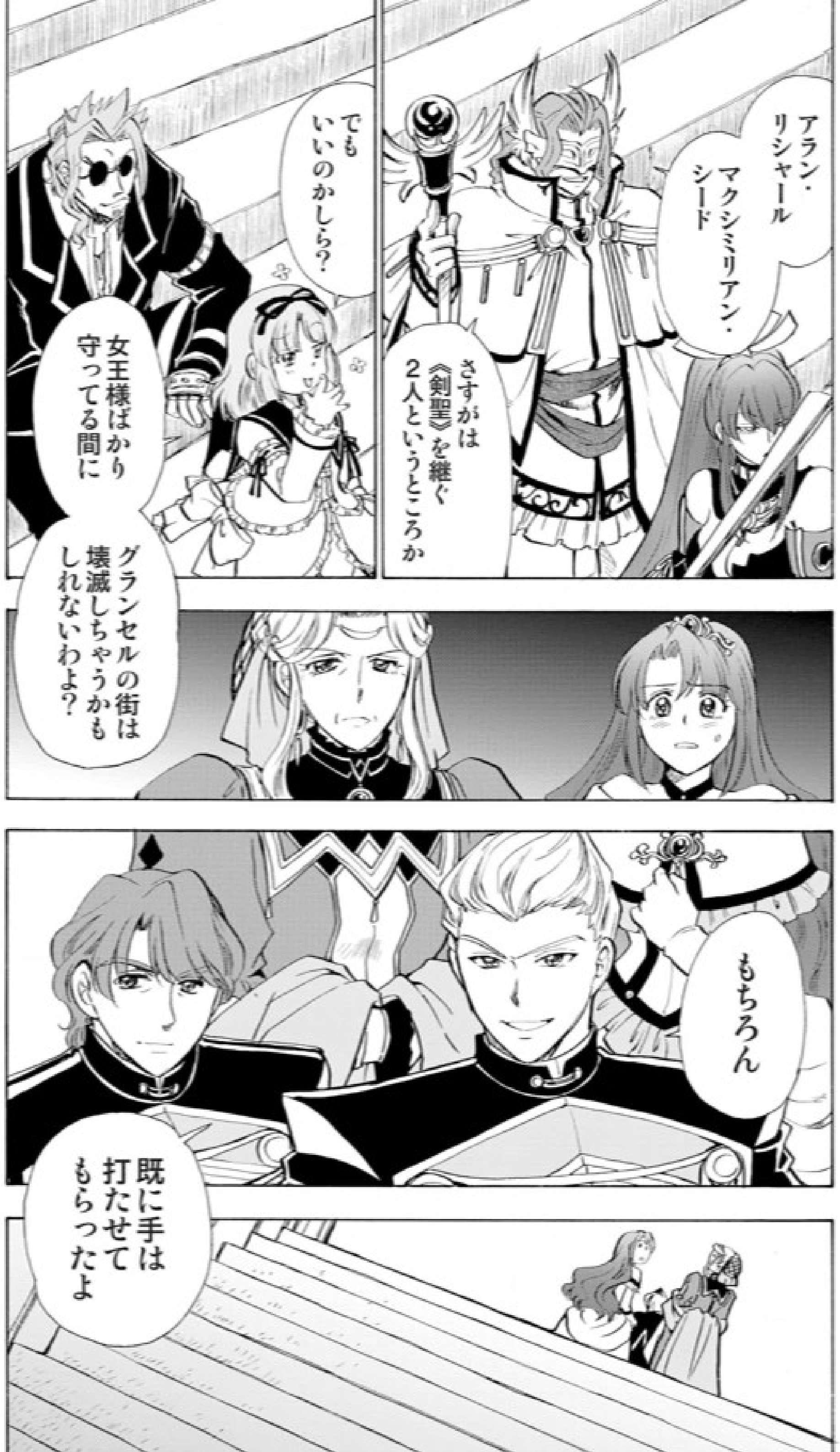
シ
シード中佐！
剣聖！
いいねェ！
次はあんたが
遊んでくれる
ってか⁉
貴殿が
シード…
《剣聖》に
連なる者か
いや
自分はあくまで
囮なのでね

ピュイ!
ジーク！
あ…
あなたは…

チッ…
ヴァルター!!
ルシオラ…
くっ…
ドオッ
きゃあ!

んもう！
いきなり襲ってくるなんて卑怯じゃない!?
その言葉そっくりそのままお返ししたいところだな…
陛下
殿下
遅くなって申し訳ありませんでした

リシャール大佐…
どうして…あなたが…
逆賊でありながら御前にまかりでる無礼をお許しください
どうか一時の間
御身を護らせて頂けますよう…
もちろんです
お願いしますね
…ありがたき幸せ
我らが来たからには陛下と殿下には指一本触れさせはしない！
貴殿らも早々に立ち去るがいい！


アラン・リシャール
マクシミリアン・シード
さすがは《剣聖》を継ぐ2人というところか
でもいいのかしら?
女王様ばかり守ってる間に
グランセルの街は壊滅しちゃうかもしれないわよ?
もちろん
既に手は打たせてもらったよ

これより
グランセル市街における
人形兵器と猟兵団の
掃討をはじめる!

市民の保護
及び
正規軍の
支援は
最優先で
行いなさい!!
イエス・
マム!!

くそっ…
我々だけじゃ
もう
これ以上は…
元王国軍
情報部
特務兵だ!
正規軍に
加勢する!!

白兵戦なら我らの十八番だ！
導力器に頼り切った奴らなどには敗けはしない！
我々は戦える!!
あきらめるな!!

おいおい！
マジかよ!?
どうして特務兵がいきなり現れやがるんだ!?
あいつら全員逮捕されてまだ服役中のはずだろ!?
しかも敵対してた王国軍と一緒に…
仲間だったはずの結社の手先を攻撃してる…!?
きっと反省してみんなを助けに来てくれたんですよー
汚名挽回ってやつですね──！
汚名を挽回してどーするよ
ドロシー！この光景しっかり写真におさめとけよ！
あいあいさー！

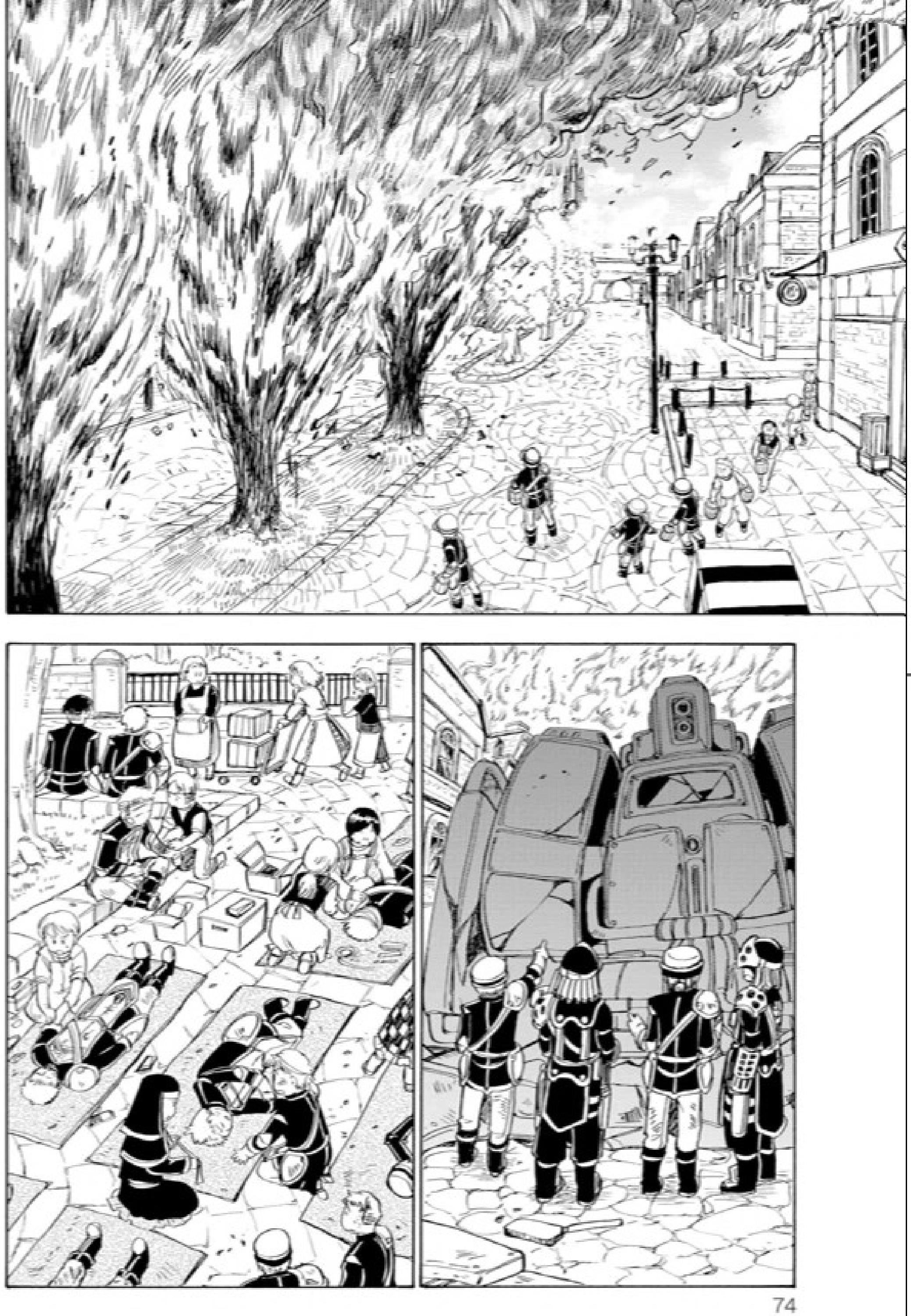
伝えようぜ！
汚名返上しようと頑張るあいつらのこと
どんな困難にも立ち向かい
何があっても乗り越えようとする人たちのことを
これがこの国
リベール王国の姿だってな！

さあ身喰らう蛇の諸君
それでも我々とやりあうつもりはあるかな？
やれやれ…
これ以上こだわるのは美しくなかろう
少し遊びすぎたかしらね
ふん…仕方ねぇな
それでは諸君
我々はこれで失礼しよう

だが
次なる試練は既に君たちの前に控えている
気を抜かぬようにしたまえ
次なる試練？
ふふ すぐにわかるでしょう
それでは皆様
ごきげんよう

…退いてくれたようですね
ふむ…
深追いできないのが残念だが…
いや
ぜいたくは言うまい
みなさん
よく来てくれました
おかげで助かりました
ありがとう
わたくしはもう大丈夫です

しかし
先程の者によって
市街にも相当の被害が出ているはず
やるべきことはたくさんありますが
今はまずこの混乱を収めましょう
みなさん
力を貸してください



ほんと
こわかったわぁ
なんだったの？
あの人たち？
お城の方へ
向かって行った
らしいんだけど
まあ…
大変！
女王様は
ご無事
なのかしら!?
ぴゅ！
…クローゼ！

よかった！
クローゼ
無事
だったのね！
エステルさん
ヨシュアさん
王都が結社に
襲われたって
聞いて
急いで
来たんだけど
…もう……
でもその時
あたしたち
通信器直しに
ルーアンにいて
いいえ
その通信器の
おかげで
軍にも連絡が
行き渡り
最悪の事態を
まぬがれることが
できたんです

ん～～～……
でも…
やっぱりもっと警戒しとくべきだったわ
クローゼが…
クローディア姫が結社に狙われてるってわかってたのに
報告はしてたけど
あたしたちももっと早く王都に戻ればよかったのよ
そしたら
こんな…
こんなことになる前に
街への侵攻を食い止められてたかもしれないのに

済んだこと言っても仕方ないよエステル
うん そうよね…
……
あれ?
で…でもそういえば…
クローゼってば
こんなところに出てきちゃって…いいの!?
だって結社に狙われて…
…るのは…クローディア姫で…
…クローゼじゃないんだけど…
で…でも結社にはジェニスの生徒だってばれちゃってるし
お姫様のかっこしてなくても今出歩くのってちょっと危ないんじゃないかしら…?

君がみんなを想う気持ちは
痛いほど伝わるけど
大丈夫だよ現場のことは僕たちに任せて
こーゆーのは遊撃士協会を頼ってくれていいんだからね!
お願いします
それから…
事が終わったら王宮に来てくれませんか?
遊撃士のみなさんにも
協力していただきたいことがあるんです

消火活動及び怪我人の救助はほぼ完了しました
結社の猟兵たちも王都から撤退した模様です
ひとまず混乱は収拾できたようですね

みなさんの働きに感謝します
本当にお疲れさまでした
な
な
な…
なんでリシャール大佐がこんな場所にいるわけ!?
大佐と呼ぶのはやめてくれたまえ
今の私はただの国事犯にすぎないのだから
だから…王国にクーデターを起こして捕まった人が
どうして王国のピンチを救ってるのよぉ

すべてはカシウスさんの指示でね
近く王都に危機がおとずれることは察知されていたんだ
だが導力が使えないこの状況下で
導力兵器を主武装とする正規軍だけでは守りきれそうにない
そこで白兵戦の経験が豊富な特務兵と
彼らを指揮する元情報部の上官の起用を決断されたというわけなんだ
エステルさんの言うとおり後々批判を受けるとは思います
ですが国民の安全には代えられません
なによりもわたくしはリシャール殿の愛国心を信じることにしました

そっか
そういう事なら 批判なんて 関係ないわ！
心強い味方が リベールに 帰ってきたって ことだもの！
うん！
これでもう 何が来たって 王都は 大丈夫ね！
…いいえ
まだ楽観は できないんです

結社の執行者が 立ち去る時
彼らはこう 言っていました
「次なる試練が 控えている」…と
私は もう
これ以上 リベールを 傷つけたくは ありません！
なんとしても 事が起こる前に
災いを 食い止めなければ
もっ
申し上げ ます!!

どうした？
何かあったのか？
さ…先程
ハーケン門と連絡がとれたのですが
リベール北部の国境近くに
エレボニア帝国の軍勢が集結し始めているのだそうです
ええっ!?
エレボニア帝国がリベール王国に!?
ど…どうしてこんな時に？
なんの用で帝国の軍隊がリベールへやってくるの？
軍勢というのはどの程度の規模なのですか？
現時点では一個師団程度のようなのですが…
そ…その中に…

戦車部隊が存在するらしく…
戦車!?
バカな！
導力停止現象のリベール国境においてどうして戦車が動かせる!?
まさか帝国も結社と同じ技術を使っているの!?
いえ
どうやらその戦車は導力機構を搭載していないタイプのようなのです
観察した限りでは導力革命以前に使われていた「蒸気機関」で動いているとか…

導力革命以前って大昔の話じゃない
そんな時代の戦車なんて…
もちろん今の時代にそのような物を保有している国などあるはずがない
蒸気機関は導力の普及と共に廃れた原始的な技術だからな
だが帝国はあえてそれを秘密裏に製造していたというわけか
ここで実戦に投入するために
そ…
それって…
リベールがこうなることを見越して
帝国は戦車を用意してたってこと?

また
10年前と同じように
帝国と王国の戦争が
始まろうとしているの…!?
だめよ！そんなの！
そんなの
絶対に止めなくちゃ！
しかし…どうしますか
結社の襲撃で王都にいる兵は皆負傷していますし
たとえ援軍を派遣できたとしても戦車部隊が相手では結果は火を見るより明らかです

だからといって
おふたりをハーケン門へ行かせるわけにもいきません
今度の事件で結社は王都を人質に取ってしまいましたから
その気になればいつでも王都を狙える…ということか
おそらく父はあなたを
緊急事態が発生した時のとっておきの隠し札にと考えていたはずです
ですが
そのカードはすでに切られてしまった
《身喰らう蛇》…
そこまで狙っていたのか…

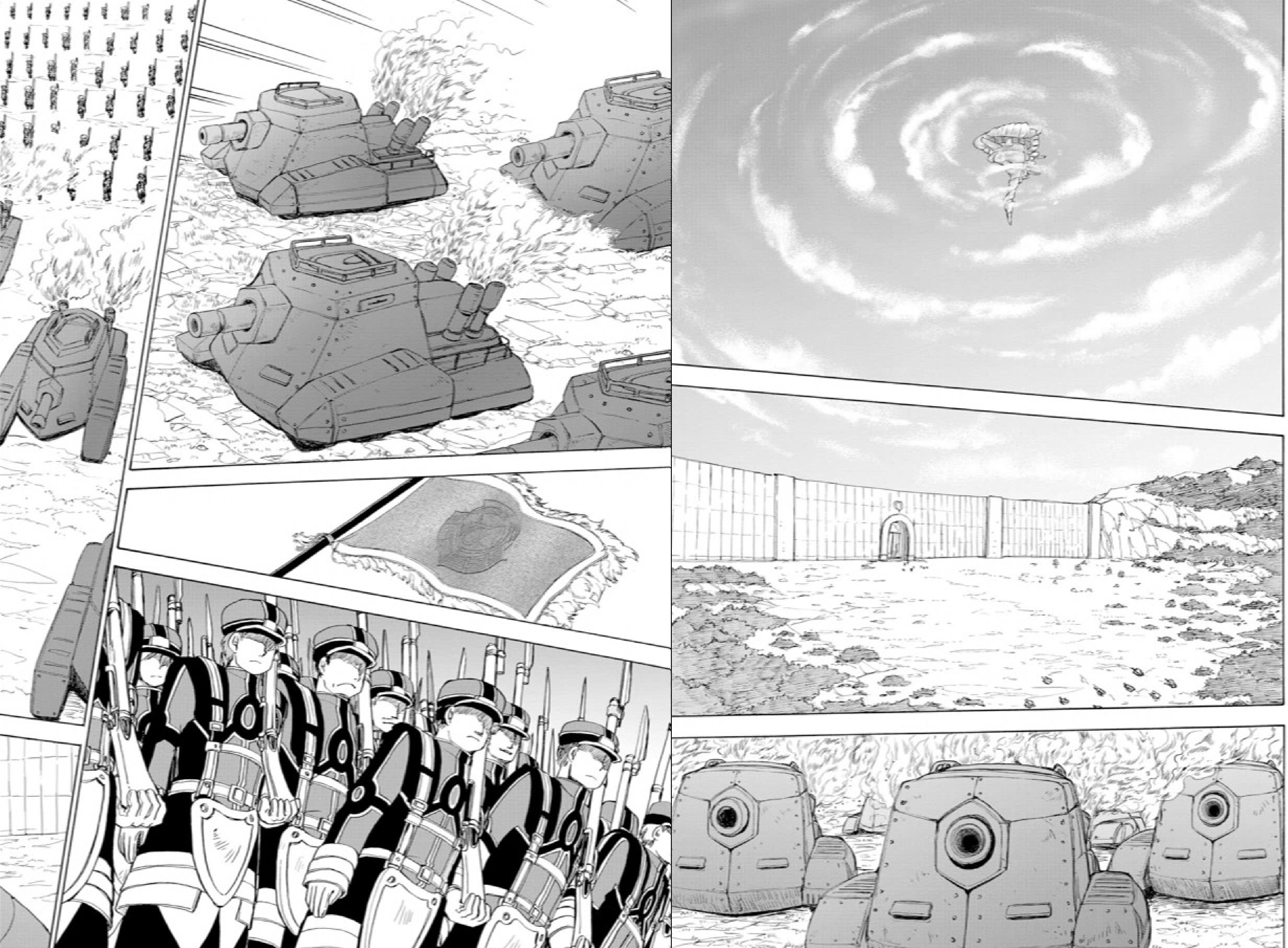
話はわかりました
ではハーケン門には
お祖母様
どうか私を
ハーケン門に行かせてください

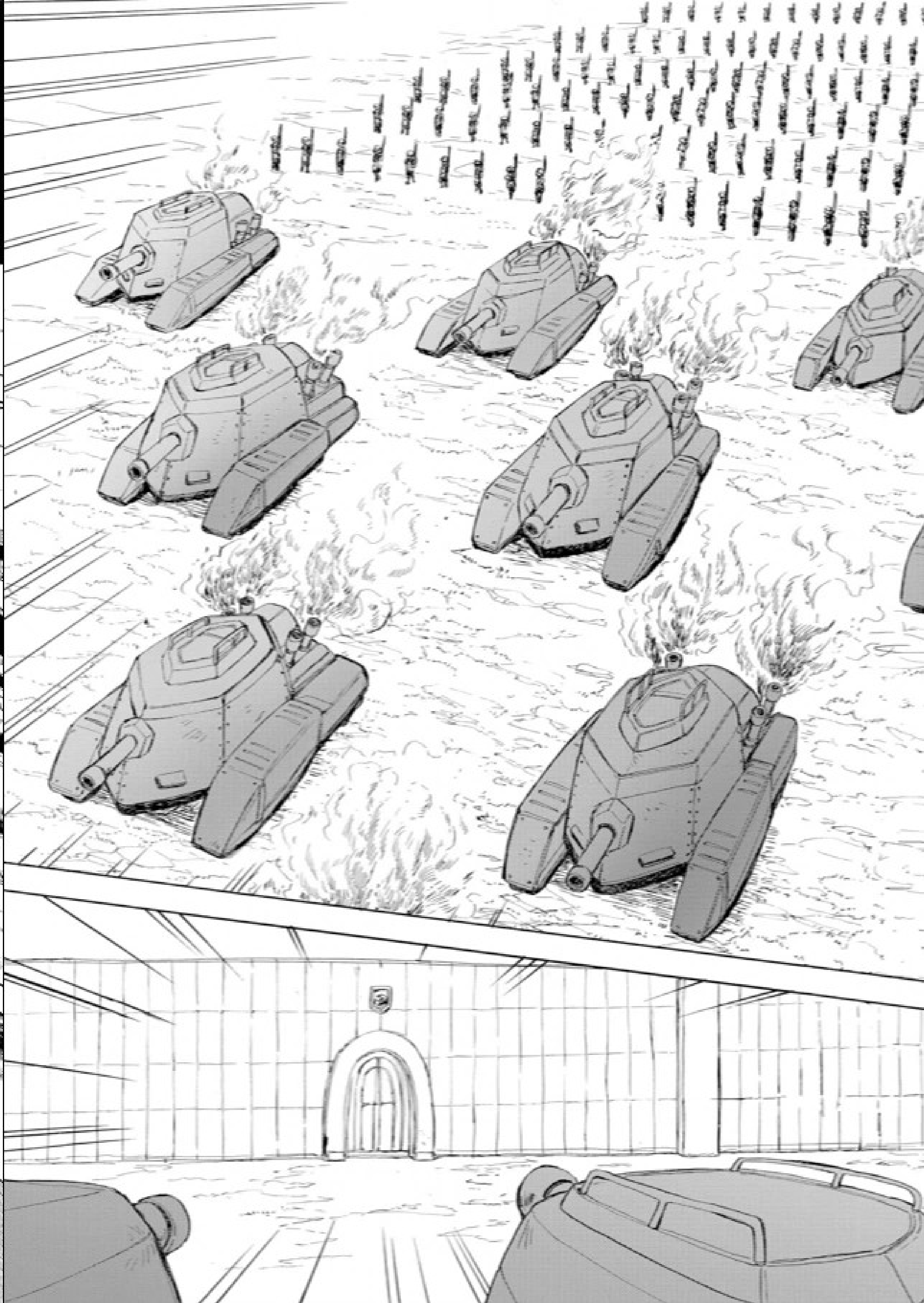
え？
クローディア
…帝国と我が国の間には先日 不戦条約が締結されたばかりです
いくら帝国といえどこの条約の建前上正当性のない侵略行為ははばかられるはず
そこにリベール王国の最高権威が現れれば
帝国軍も話し合いの席に着かざるを得ないでしょう
ならばまだ
交渉の余地は残っていると思います

その交渉人にあなたがなるというのですか？
一介の学生であるあなたが
…いいえ
お祖母様
こんな時に申し訳ありません
まだ…お祖母様のお考えが変わっていなければ…
…今すぐ
立太女の儀を執り行ってください

クローゼ
私は
お祖母様の代理として
リベール王国の次期女王として
必ずや帝国軍との交渉を成し遂げてみせます

わかりました
託しましょう
どうかよろしく頼みましたよ
はい！





説明してもらおうか！
ここは国境の砦ハーケン門！
これより先はリベール王国だ！
なにゆえエレボニア帝国の軍隊が武装してやってくる!?

説明して いただきたいのは こちらの方です
モルガン将軍
先日より 我が帝国南部の街で 導力器(オーブメント)の異常現象が 続いている状態です
そしてそれは 謎の巨大構造物が 貴国の湖上に 現れてからだという…
これは一体 どういう事 ですかな？
どういう事も 何も… おぬしが 言った通りだ！
我らも突然現れた 災厄に混乱 しきっておる！
そしてその災厄に 我が帝国領土も 侵されているのです
ならば我々が ここに来る理由も理解して いただけるのでは？
我らの弱みに つけ込む つもりか!?
まさか
我々は先日 不戦条約を 結んだばかり なのですぞ
聞けば異常現象のみならず 乗じて怪しげな犯罪組織が 王国内を跋扈(ばっこ)しているとか
さすがに王国軍も さぞ疲弊して おられることでしょう

だが この戦車が あれば
貴国の窮状を 救うことも かないましょう
異常現象下でも 機動する 戦車部隊の 勇姿
ぜひとも 女王陛下に 直接ご覧 いただきたい
無論 ご高齢である 女王陛下にここまで ご足労いただくような 無礼などできるはずが ありません
つきましては 我々自ら王都へ 馳せ参じますゆえ 開門にご協力 願いたく…
お気遣い とても 嬉しく 思います

ひ…
姫様!?
どうして こんな危険な 場所に…
持ちこたえて くださって ありがとうございます
ここからの交渉は 私に任せて ください

は…
いや！ですが…
大丈夫よモルガン将軍
あたしたちがクローゼの護衛を務めるから！
姫殿下には指一本触れさせませんわ
しかし…
姫様が…
大丈夫！
クローゼは誰よりもリベールのみんなのこと大切に思ってるもの！
その想いの強さと
そのために積み重ねてきた彼女の努力が
あんな戦車なんかに
踏みにじられるわけがない！

今の未熟な私が振りかざしたところで
どれだけの力が発揮できるかわからない
それでも
大切な人たちを守れるなら
その事が結果的に王国を守ることに繋がるなら
私は王位を継ぐことを
怖がる必要なんかない
リベール王国の女王
この称号は

私が振るうことのできる
私の武器
…どうやら
交渉相手が変わったようですかな？
お初にお目にかかります
わたくしの名はクローディア・フォン・アウスレーゼ
リベール女王アリシアの孫女にして
リベール王国の次期女王に指名された者です

こ…
これは…
失礼いたしました…！
自分の名はゼクス・ヴァンダール！
エレボニア帝国軍第三師団を任されている者です！
ゼクス・ヴァンダール中将…ですね
御勇名は耳にしております

…して
王太女殿下がどうしてこのような場所に？
モルガン将軍と同じように
抗議されるおつもりですかな？
いいえ

帝国南部の方々もさぞ不安な思いをなされていることでしょう
異常現象によってもたらされる理不尽さとそこからかきたてられる底知れない恐怖は
リベール王国民が味わっているそれとなんら違いはないでしょうから
だからこそ考えていただきたいのです
ただでさえ不安な日々を過ごしている時に
突然武装した他国の軍隊が押し寄せてきたら
人々はその光景にどんな感情を抱いてしまうのかを

ですが我々はただ…
もちろん王国のために動いてくださったことには感謝します
ですがその貴国の善意が誤解されてしまうのはあまりに忍びなく…
そのようなことは絶対に避けねばならないと思うのです
しかし
目下
わたくしたちはこの異常現象を解決する方法を最優先で模索しております
また
件の犯罪組織についてもこれまですべて自力で対処できている状況です
ご心配には及びません!
帝国と王国…
わたくしたちは先日不戦条約を結んだばかり
培われた友情に無用な亀裂を入れないためにも
どうかしばしの時間をいただけないでしょうか

む…
…むむ……
…残念だが
それはそちらの事情でしかない

え…
中将
ここからは私が引き受けよう
お…
皇子…
さがっていたまえ
な…
な…
なんで…

どうして
こんなところに
オ…
オリビエが…
いるの？
お初に
お目にかかる
クローディア姫
エレボニア皇帝
ユーゲントが一子
オリヴァルト・
ライゼ・
アルノールという

オリ…
…ヴァルト？
…いやいや
どう見たって
オリビエ
でしょ？
でも…
自分のこと
皇帝の一子って
言ったわよ…
んん…
えー…
…じゃあ
あの人は
オリビエ…
…に
そっくりな
帝国の皇子様
…ってこと？
いや

あの人は
間違いなく
オリビエさんだ
そして彼は
間違いなく
エレボニア帝国の
オリヴァルト皇子
なんだよ
…だったら
オリビエは
ずっと…
あたしたちを
騙してきた
っていうの…？
どうかしたのかね？
もしかして
私の顔を
ご存知だったかな？

…いえ
お初にお目に
かかります
オリヴァルト皇子
お名前だけは
存じて
いましたが
…まあ
皇子と言っても
公式の場に
出ることは
少ないから
顔を
知らなくても
別段気にしては
いないよ
例えそれが
かつての
縁談相手の顔
だったとしてもね
え
だが
今回の事態は
知らぬ存ぜぬでは
済まされない

貴国上空に浮かぶ巨大構造物
あれが今帝国本土でどのように噂されているかはご存知かな？
……
いえ…寡聞にして…
ならば教えてあげよう
あれはリベール王国軍が開発した新兵器らしい
リベール王国はエレボニア帝国に
あの兵器で
10年前の復讐を企てているのだ…と

そんな…誤解です！
わたくしたちはそんな…
誤解？
どう誤っていると？
現に我が帝国は導力の停止という攻撃を今もなおお受け続けている
そしてその攻撃は王国領空にある巨大構造物から発せられている
この見解に何か間違いがあるとでも？

……
いえ… その通りです…
…ですが
あれは誓って リベール王国の 兵器では ありません!
ましてや 導力停止現象を利用して 他国を侵略する行為を わたくしたちが行うなど
断じて! ありえません!!
ならばそれを 証明できるかね?

口先だけの平和なら いくらでも 唱えられる
だがそれだけで 丸め込めるほど 帝国軍は甘くないんだ
貴女の言葉を 信じさせたい のであれば
ここにいる 誰の目にも 見える形にして 提示して もらいたい
形…
それが できないので あれば
こちらのやり方を 強行させてもらう しかないのだよ

い……っ
いいっ加減にしなさいよ！
むーっ
なんでそんな意地悪なことばっか言うわけけっ⁉
エ…エステルさん…
は！
ごめん！クローゼ！
…オリビエだってわかってるんでしょ⁉
リベールが今どんな状況かってことぐらいは！
……っ
でも……
あれも結社の仕業なの！
結社があれを出現させてリベールに悪さを仕掛けてるのよ！
ほう？
もしかしてその結社というのは王国で問題になっているという犯罪組織のことかね？
忘れたの⁉
結社《身喰らう蛇》よ！
結社《身喰らう蛇》…
それが今回の事態の原因だというのか？
そうよ！
彼らの陰謀を止めさえすればすべての問題は解決するんだから！
どうして
この人は
こんな交渉を続けているんだろう

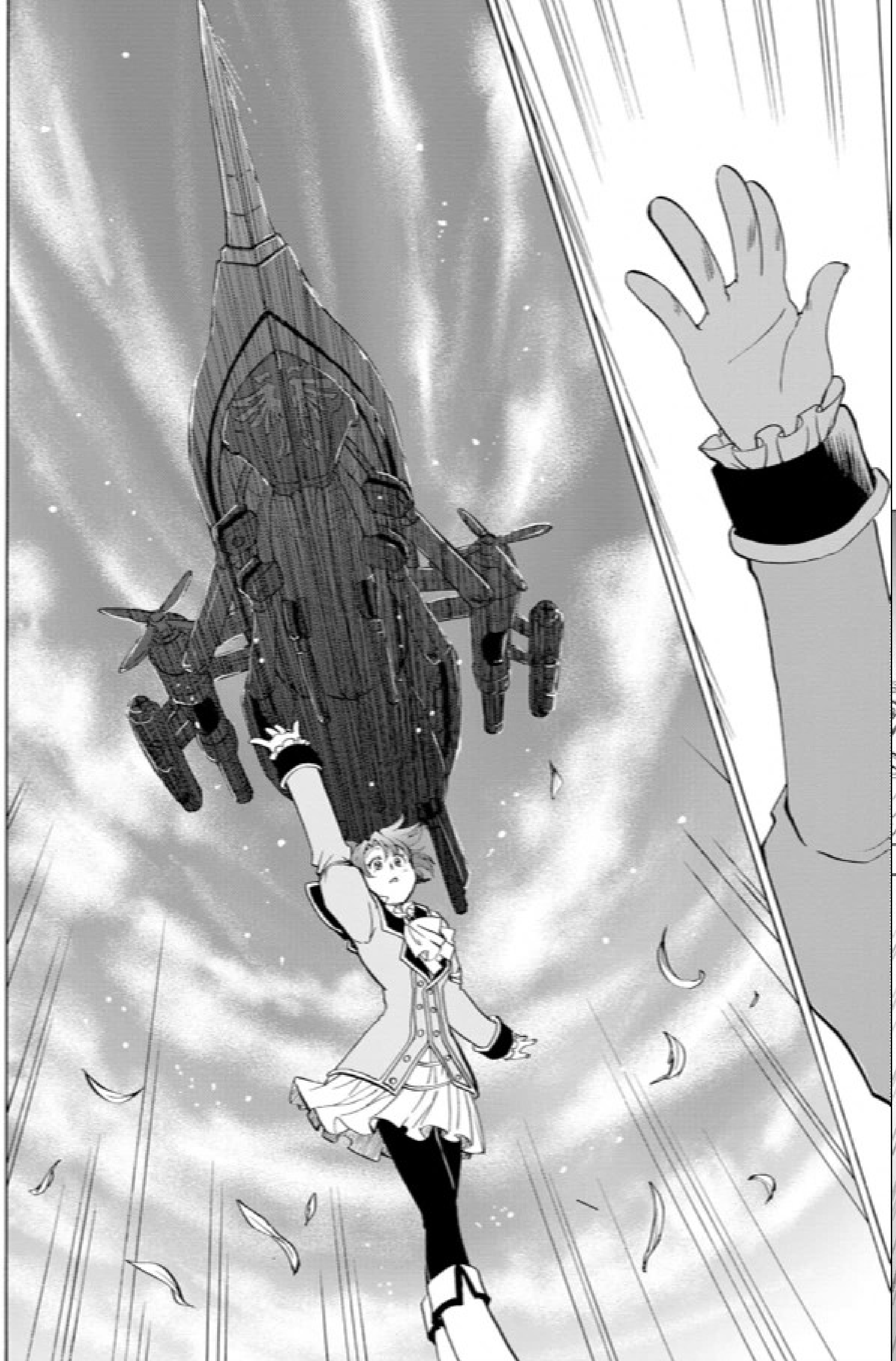
圧倒的な戦力差がある相手に対して
話し合いなんてする必要はない
戦力にまかせて押し入ってしまえばそれだけで事は済むのだから
相手の国を陥としたいと
本当に思っているのなら
しかし仮にその結社とやらが犯人だとして
この異常現象を止める方法が果たして君たちにあるのかね？

そ…
それは…
ないというのであれば
我々も手をこまねいているつもりはない
なのにどうして
この人は
この蒸気戦車には火薬式の大砲を搭載しているのだ
貴国の中に入り込みあの浮遊物体に近づいて発射してみるというのはどうだろう？
じょ…
冗談でしょ!?
大砲なんかで空に浮かんでる物を撃ち落とせるわけないじゃない！
エレボニア帝国のオリヴァルト皇子は…
やってみなければわかるまい？

私の知ってるオリビエさんなら
いずれにせよ我々が打って出るより他に仕方あるまい
君たちに我々の善意と正義を退けるだけの根拠も実力もないのならば…
く…
…ならば
証明すればよろしいのですね？

この状況にあってあの浮遊物体をなんとかする可能性を提示できれば
わたくしたちにしばしの猶予をいただけるのですね
まぁ…そうせざるを得ないだろうな
皇子!?
貴国自らで解決できるのならば我々がわざわざ動く必要はないのだから

困ります！
そんな方向に話を持っていかれては…！
落ち着け中将
不戦条約を結んだ相手にこのくらいの譲歩は当然の礼儀だろう？
それに
あくまで証明できれば
…だ
いいだろう
黄金の軍馬の紋章と皇族たる私の名に賭けて一時的な撤退を約束しよう
…では
見せてみたまえ！
その手を空に掲げて！



馬鹿な…!
う…
うそ…っ
なぜ ここに 飛行船が…!!
どうして この状況で 空を飛ぶことが できる…!?

これが
我がリベールが誇る世界最高峰の高速巡洋艦
アルセイユ!
!!
わたくしたちの提示できる
可能性です!
この船で空を駆け
浮遊物体に直接赴き
すべての災厄を取り除くことをお約束致します!
リベール王国次期女王たるわたくしの名に懸けて!

…致し方あるまい…
私とて誇り高きエレボニア皇族
約束は…守らせてもらおう
帝国軍全部隊
ただちに撤退をはじめよ!

帝国軍が…
引き揚げてく…

すごいわ！クローゼ！
あんな大軍隊をひとりで撃退しちゃうなんて！
わあっ！
い…いえ
これは私の力ではなく…
わああ♡
おそらく……
…ほらっ！
アルセイユが着陸するみたいですよ
行ってみましょう！

皇子！
これはどういうおつもりですか!?
仕方あるまい あれだけ見事に切り返されたのではな
それにあのまま戦争をしかけたとしても
蒸気戦車隊などリベールの白き翼にけちらされて終わりだろう？
おっしゃる通り ぐうの音も出ませんよ
実に見事な猿芝居でしたな！

やっぱりバレちゃった?
あたりまえです!
リベール王国におられるとは聞いていましたが
よもやこんなことを企むためだったとは…!
しかし…これは冗談では済まされない!
帝国政府の意志に背くと思われても仕方のない行為ですぞ!
一体 皇子は何を考えておられるのか!?
ゼクス中将
いや
先生
あなたも本当は気づいているはずだ

唐突すぎる蒸気戦車の導入
不自然極まるタイミングでの出動命令
まるで今のリベールの混乱っぷりを予見していたかのような采配じゃないか
今回の件で確信したよ
彼・は間違いなく《身喰らう蛇》と通じている
皇子…
まさか貴方は…
10年前と同じような欺瞞は
二度と繰り返させない
彼の美しくないやり方を
これ以上見過ごしたりはしない

ボクは
帝国に巣喰う怪物を退治することに決めた!
これは
その宣戦布告というわけさ
……それがどれほど困難を伴うことなのか
理解しておいでなのか?
そりゃあもちろん

ならばなぜ…
先生
ボクは
リベールを旅していて
ひとつ思うことがあったんだ
どんなに厳しい場所に身を置くことになろうとも
人は
国は
その気になればいくらでも誇り高くあれるんだ
…と

そして
こうも思った
ボクの祖国とその同胞にも
同じように誇り高くあってほしい
できればその理想に
先生にも協力してもらいたいんだけど
ね♡

とりあえず
撤退に関してはひとまず了解しました
先生ー♡
ただし！
我が第3師団はあくまで先駆け
すでに帝都ではリベール侵攻に向けて10個師団が集結しつつあります
今日を入れて3日……
それ以上の猶予はありますまい
その間にリベール王国はすべての決着をつけねばならんということか

これはいかんな!
同盟国としては助太刀をしてさしあげなければ!
じゃあ! そういうことで!
はぁ!?
世界の平和を取り戻してくるからね!
皇子!!
ミュラー!
…
おまえも皇子について行け!
危なくなったら首根っこ掴んででも連れ帰るのだぞ!
ええ叔父上
元よりそのつもりです!
皇子…
大きくなられましたな

見事な交渉でした!
クローディア姫殿下!
あ!
やっぱり
あなたでしたか

カシウス准将
な
なんでまた父さんが…
なんでこんな都合よく現れるのよ!?
かねてからラッセル博士たちが進めてくださっていたアルセイユの改造がようやく終わってな
姫殿下がおひとりで帝国軍に立ち向かわれたとの連絡を受けて
急ぎ助太刀にと馳せ参じたというわけだ

殿下…王都襲撃の件は聞きました…
王室親衛隊としての責務を果たせず本当に申し訳ありませんでした
アルセイユ用の大型零力場発生器の開発が思った以上に難航してのぅ
皆で完成を急いだんじゃが
遅くなってしまってすまんかったの
でもすごいナイスな登場だったわよ!
よかったぁ!!!
そっかー
あんなタイミングで飛んでこられたらいくら帝国軍でも引き下がるしかないもの
こんな切り札持ってたなんて
えっ
クローゼも策士なんだから
いいえ
あれも…
おーい
おーい

やあ
みんな
ご苦労様
だったねぇ
オリビエ!?
なによあんた！
帝国の皇子様じゃ
なかったの!?
もう一体何が
どうなってるわけ!?
実は
恥ずかしながら
帝国内に
怪しげな陰謀が
進行していたのでね
ボクだけでは
無理だったから
ひとつ王国軍に
協力してもらって
帝国軍の出鼻を
くじいてやった
わけなのさ
なに
言ってんのよ
帝国の問題に
首突っ込むよーな
人間が王国軍に
いるわけない…
………

まさか…
オリビエと
父さんは
最初から
グルで…
はっはっは
帝国軍と一緒に
あたしたちまで
騙してたって
……こと？
なんでそんな
ややこしいこと
するのよ
この大人たちは！
敵を欺くには
まず味方からと
いうからね
結果的に
上手くいって
よかったじゃ
ないか
だけどー！
もー…
…でも

本当に…ありがとうございました
おふたりのおかげでリベールは大きな危機を回避することができました
なにをおっしゃる姫殿下
貴女が危険極まるこの場所に自ら足を運ばれ
大軍勢にもひるまず本気の交渉をなされたからこそ
我々だけでは止めることさえできなかった帝国軍を無血で退かせることができたんだ
貴女のおかげで王国は守られ
我が帝国は過去と同じ過ちを犯さずに済んだ
ありがとうクローディア姫

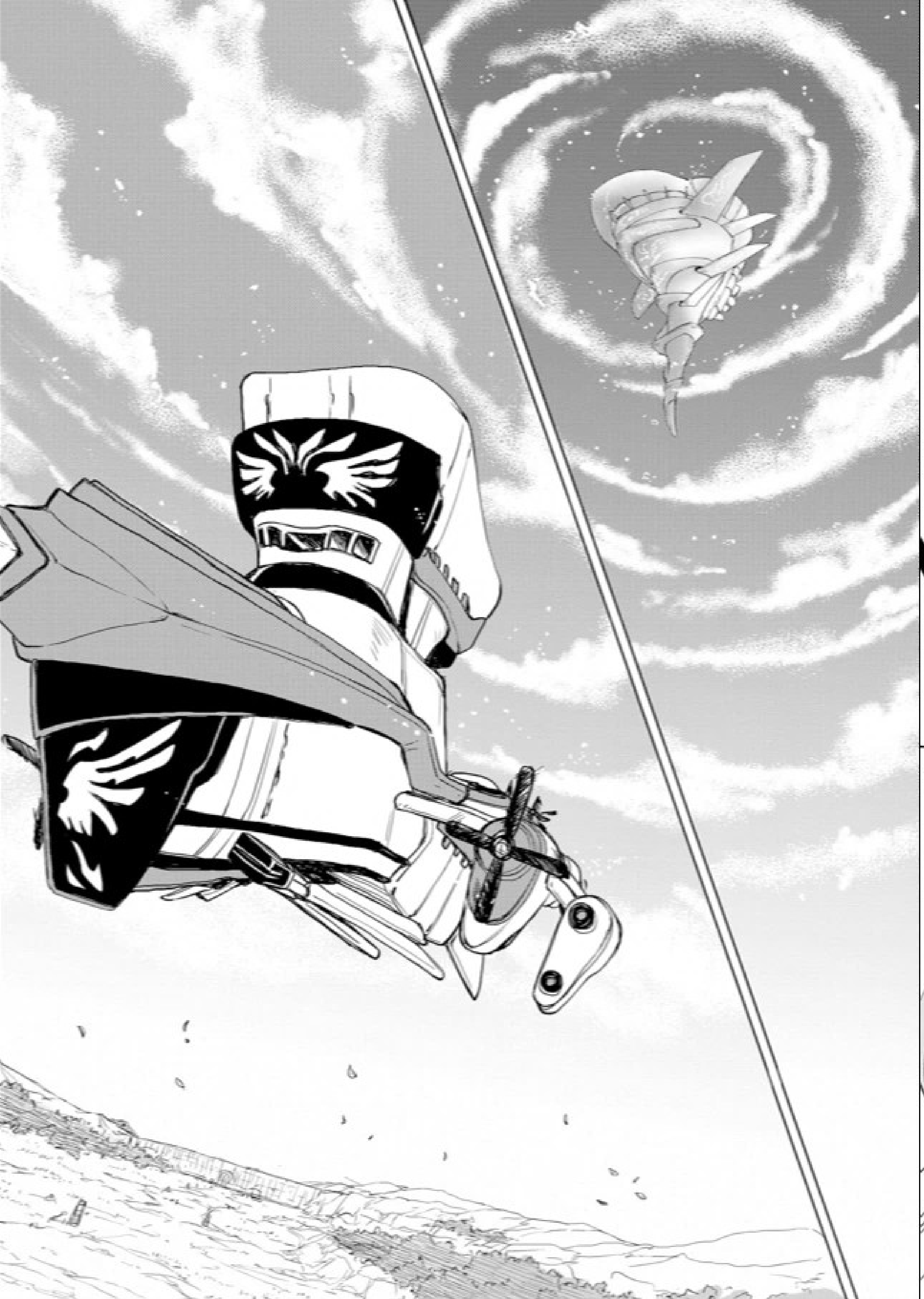
そんな…もったいないです
私はまだまだ未熟ですし…
……
…でも
皇子がおっしゃってくださったことが私にできたのなら…
それは
ここまで私を支えてくださった
たくさんの方々のおかげですね
あれ？
…え!?
いやいやいや
あたしは…
交渉に茶々入れちゃっただけだし…

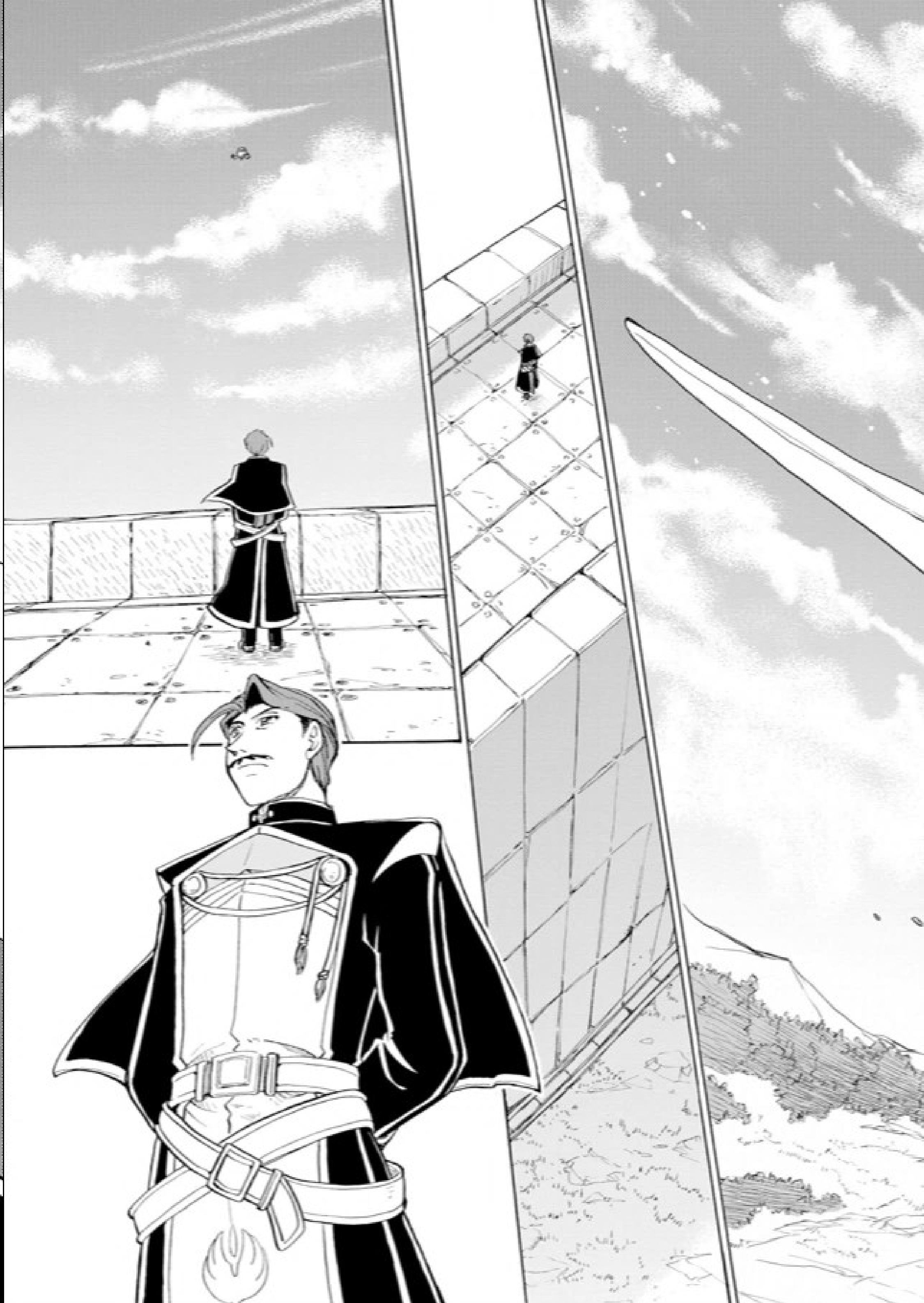
守ったっていうなら ここで帝国軍を食い止めてたモルガン将軍たちの方が…
すごい…
わしらは… 己の仕事をしただけのこと！
労をねぎらいたくば 姫様の決意を形にして見せた
アルセイユの関係者に言うがよい！
わしらはただアルセイユを飛ばせるようにしただけじゃよ
まぁ…そのアルセイユがヴァレリア湖に不時着していると導力通信が入ってこなければわしらはなーんにもできなんだがな
だとすれば通信器を直すために王国中を走り回ってくれた者の功績は大きいのぅ
少しでも力になれたなら嬉しいんだが
つっか遊撃士が通信器を直すのに専念できたのは
リベール王国の全員が
このわけわかんねぇ状況で暴動も起こさずじっと辛抱してくれてるからだろ
俺らはいいからそっちの方をほめてやってくれよ
よーするに！
みんながみんなで頑張ったら
なんでもうまいこといくってこっちゃな！

みなさん!
これより
アルセイユは
ヴァレリア湖
上空に現れた
浮遊物体に向かいます!
これが
最後の
お願いです
どうか
窮地にある
リベールに
みなさんの力を
お貸しください!

ほんならもう
そのみんなで
そもそもの元凶を
なんとかしてまえば
ええんとちゃう?
リベールの
災厄の
すべての
元凶…
《輝く環(オーリオール)》を!

その依頼
あたしたち
みんなで
つつしんで
請けさせて
もらうわ！
必ずや
この事態を
解決して
みせるから！

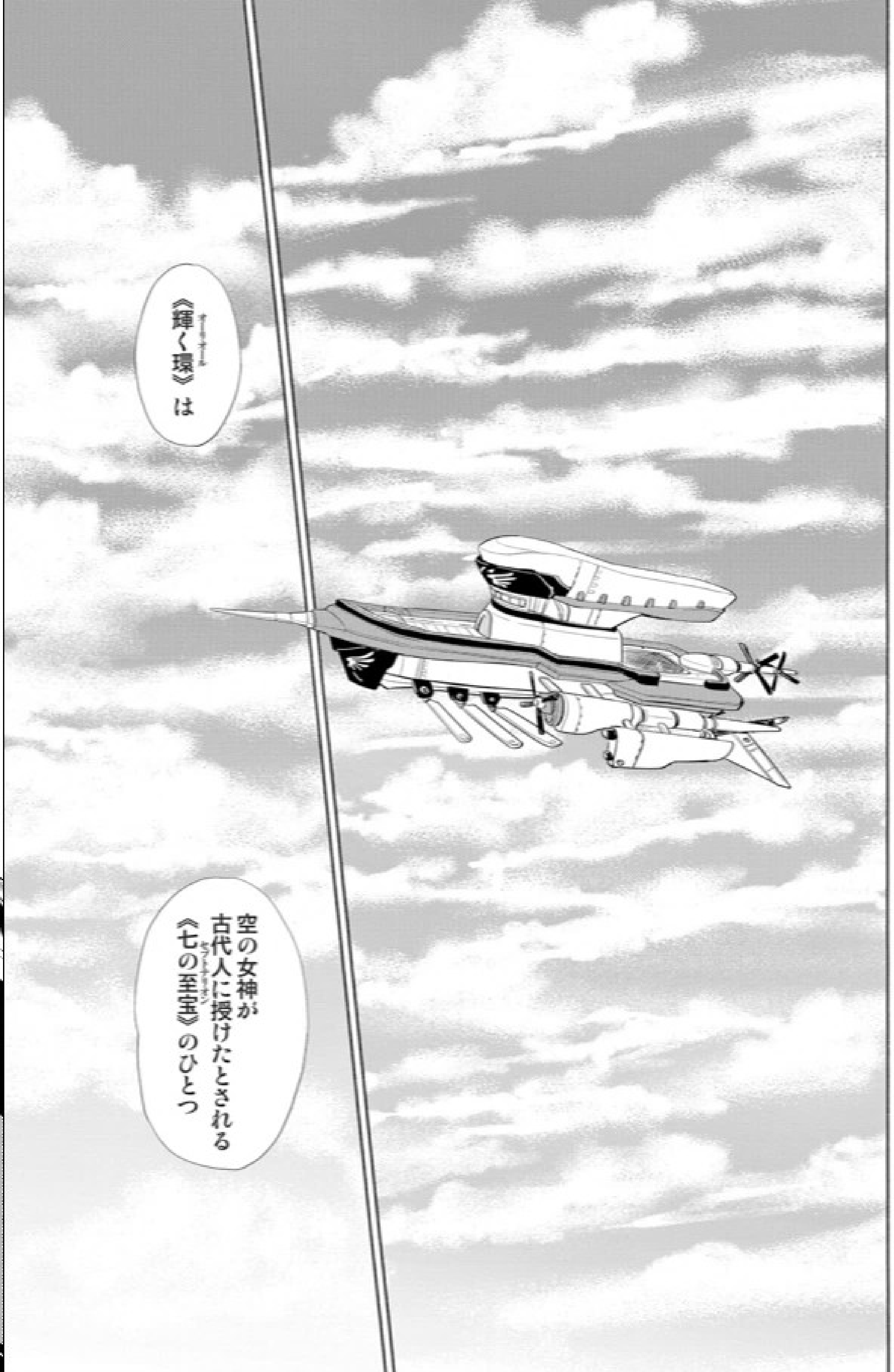




いいのか？
カシウス
心配なら
一緒に行っても
よかったのだぞ
いや…これで
いいんです
どうやら敵は
思った以上に
危険極まりない人物の
ようですから
私のような
できる男が
同行しようものなら
手段を選ばず
ガチで抹殺しにくる
でしょうからね
おまえもずいぶん
買われたものだな
…逆に
そこに
つけいる隙が
出てくる
はずです

…そうか
ならば
今できるのは
ひとつだけ…
ということか
ええ
レナ
それに
空の女神よ
あの子たちの足元を
どうか
照らし出してくれ

この大いなる
空の下
自らの道を
見つけられるように


《輝く環》は
空の女神が古代人に授けたとされる《七の至宝》のひとつ

七耀歴0年頃 ゼムリア大陸全土で起きた 大崩壊っちゅー災厄の時
リベール王国の地下深くに封印されたんやけど
今回その封印が解かれてしもうたせいで
力を取り戻した《環》は浮遊都市ごと空に浮上したってわけなんや
浮遊…都市
…ごと？
もしかして空に浮いてるでっかい物体が《輝く環》ってわけじゃないの？

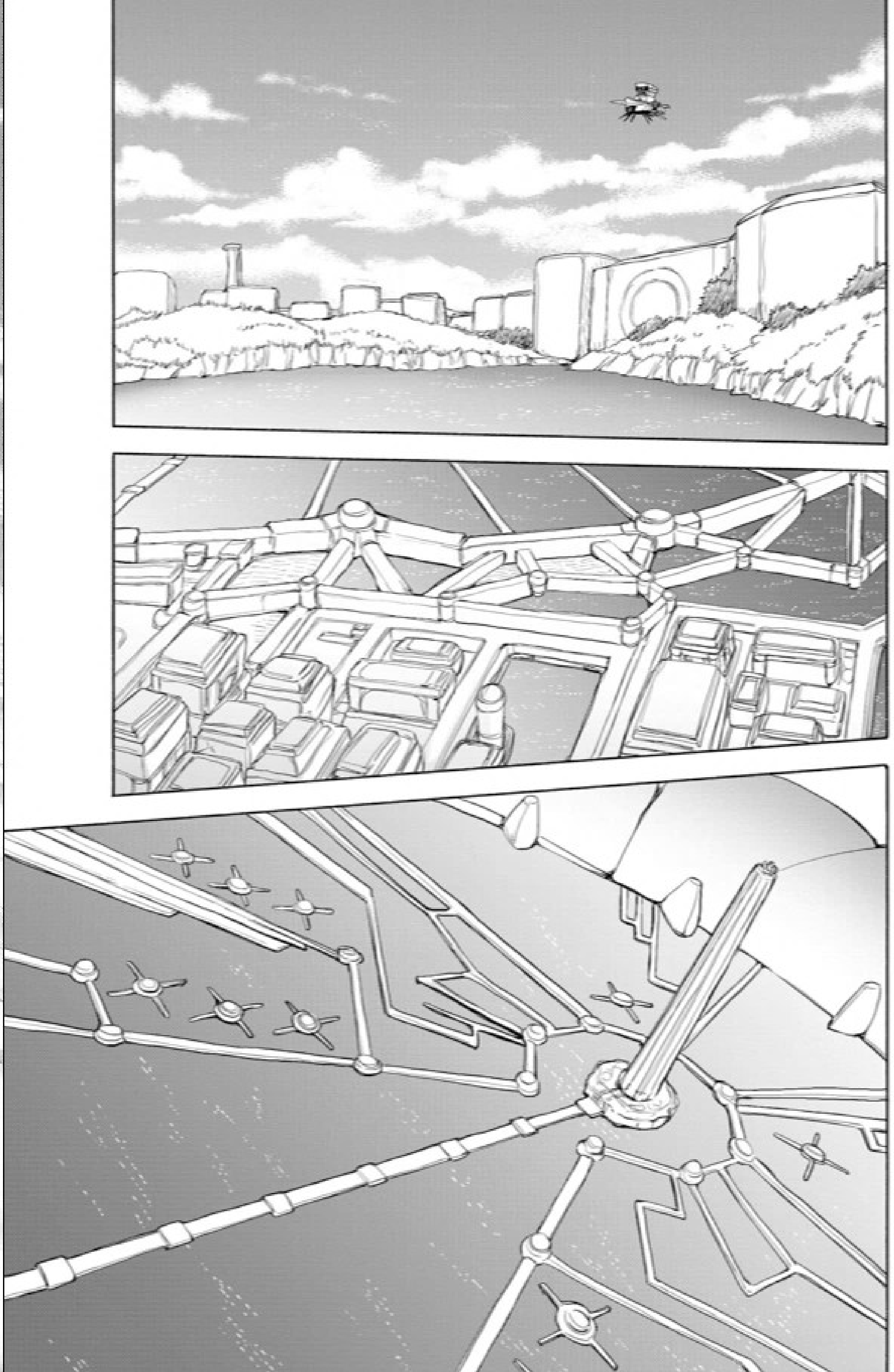
そやで
《輝く環》はあの浮遊都市そのものやのうて
あの都市の中にあってそこの導力をコントロールしてる古代遺物らしいんや
で…でもコントロールって導力の流れをより良く調整することですよね
なのにどうして導力停止現象なんて事態が起きちゃうんでしょうか？
これは…推測やけど
《環》はあの都市全体の導力を行き届かせる力だけやのうて
外界に存在する異物を排除する働きを備えてるんとちゃうやろか

それって…
あたしたちが使ってる導力器は《輝く環》にとって排除すべき異物だってこと…？
故に影響範囲内にある物はことごとく無力化する
いわば防衛機構というわけか
…その可能性は高いじゃろう
だとすると
わしらが今までやってきたことは
空の女神のお気に召さんかったということなのかの
だったら
なんだって言うの!?

今まで起きた悪いことは全部《輝く環》が原因で
その《輝く環》はあの空に浮かんでる浮遊物体のどこかにあるんでしょ
だったらあたしたちは
このままアルセイユで乗り込んで
そこにある《輝く環》を見つけ出すだけよ!
それでみんなに笑顔が戻るなら
女神様の妨害なんかはね返しちゃえばいいんだわ!
でも妨害は
それだけじゃない

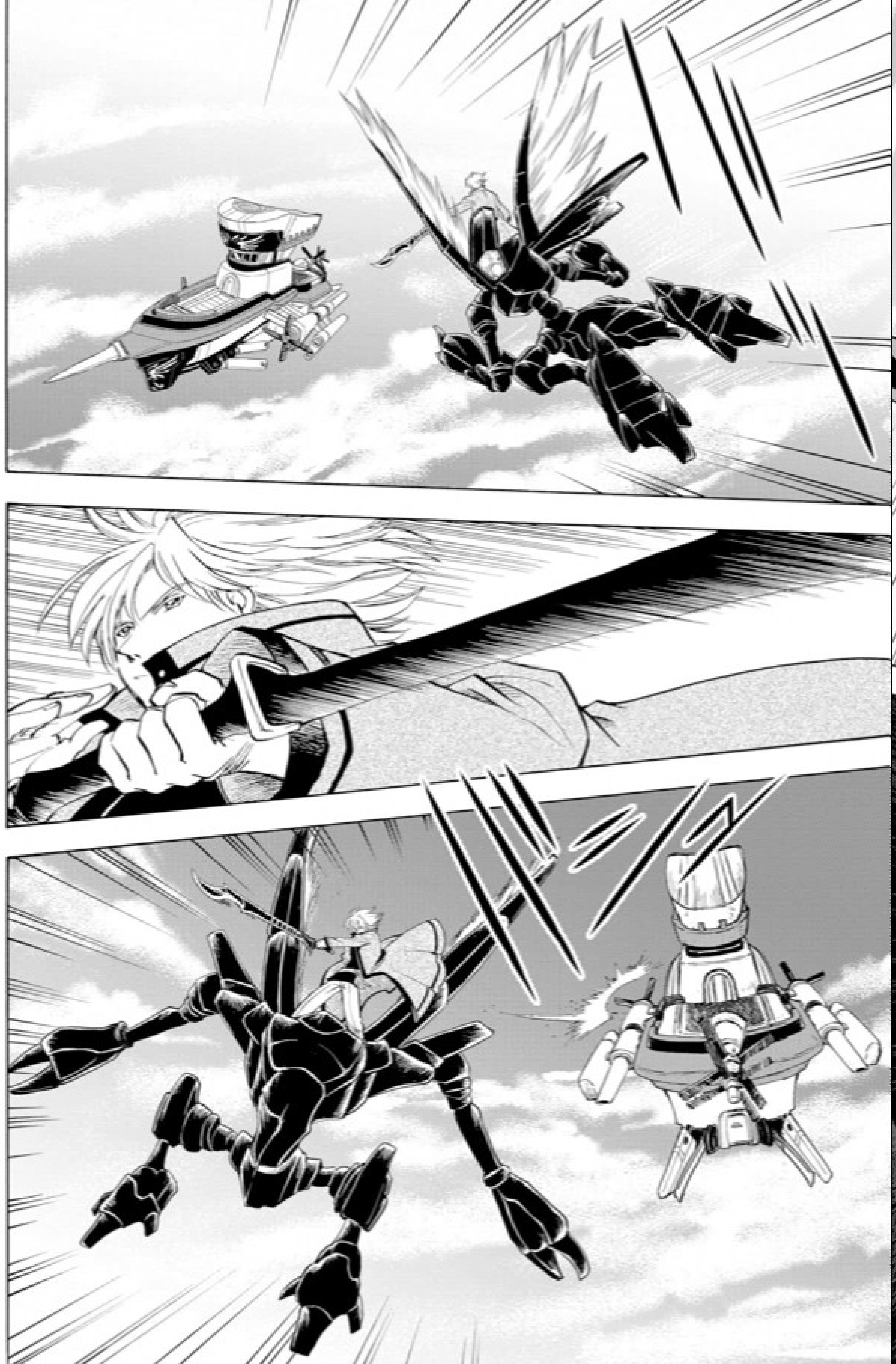
《輝く環》の前には
おそらく強大な敵が待っているはずだ
結社の
執行者たち
レーヴェと…
それにワイスマン教授…ね

ここで全部終わらせる
すべての決着をつけよう!
……前方に雲の切れ目!
間もなく浮遊物体の上空に
出ます!



す…すごい…
こんなものが空に浮かんでたなんて…
これが大崩壊で失われた
古代ゼムリア文明の精華……
よーし！
みんな！いくわよ！
リベールの平和を取り戻すために！

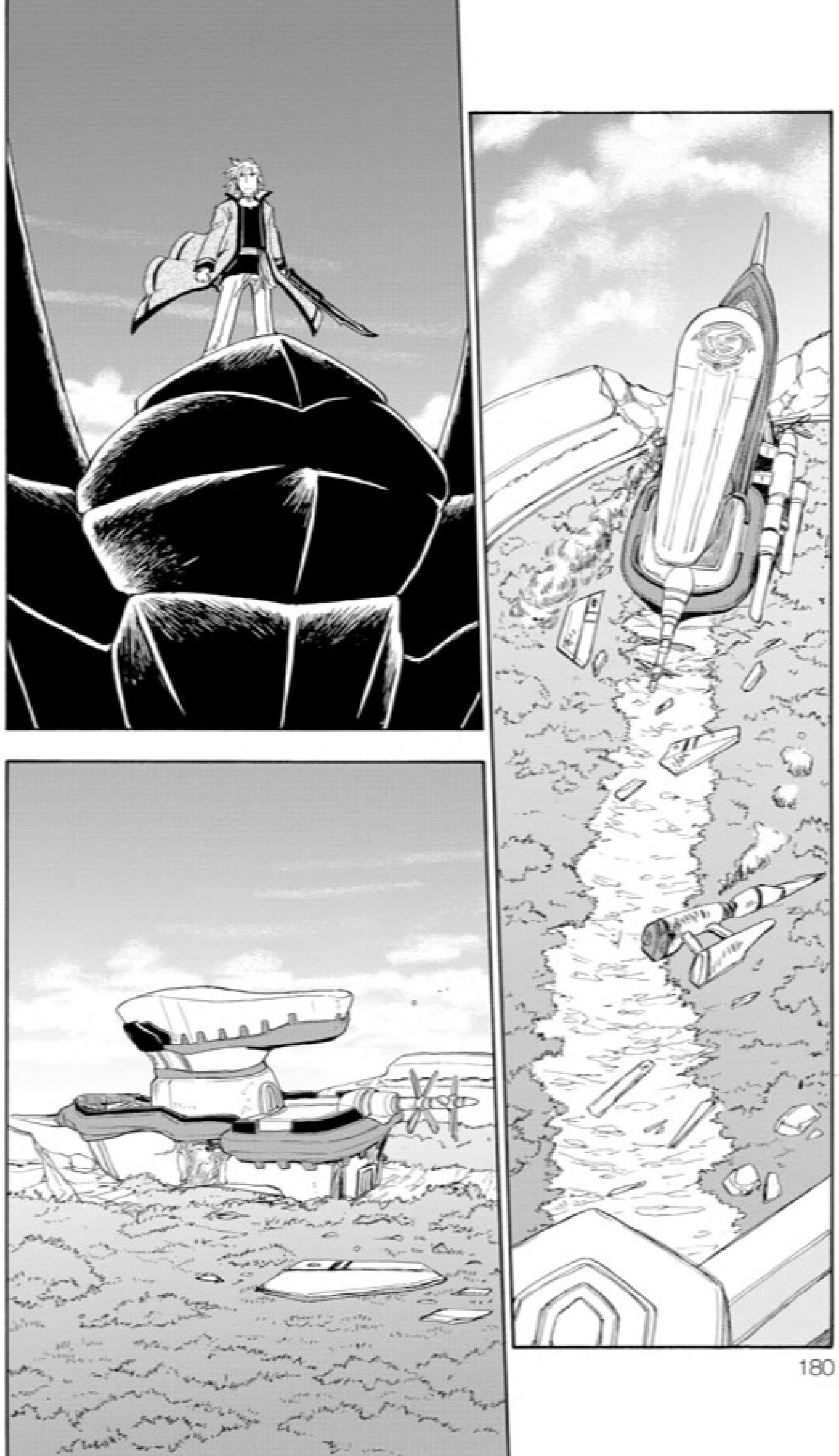
さあ
見せてもらおうか！
希望の翼が折られた時
おまえたちに何が示せるのかを！



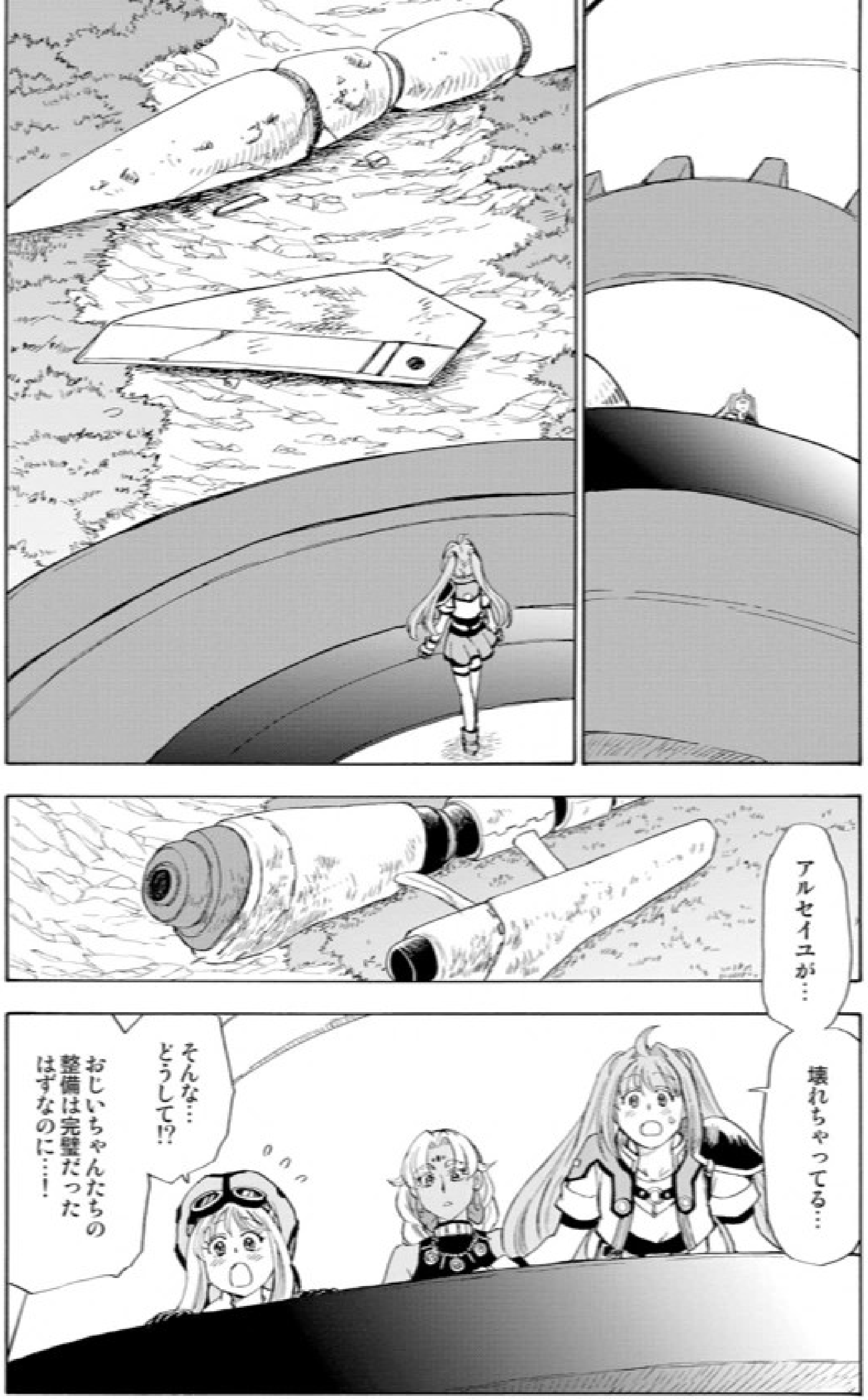
あれ？
今 何か…
アルセイユの横を変なのが通り過ぎてったような…
ん？
ドオッ
ボン

わあ!?
何事か!?
…左側部に損傷!?
…だめじゃ！
このままじゃと
アルセイユは…！

ドオッ



…エステル！
大丈夫!?
ケガしてない!?
あー…
うん 平気
みんなは？
なんとか無事だぜ
こちらも大丈夫です
あたしたち…落ちたのよね
一体何が起こったの？

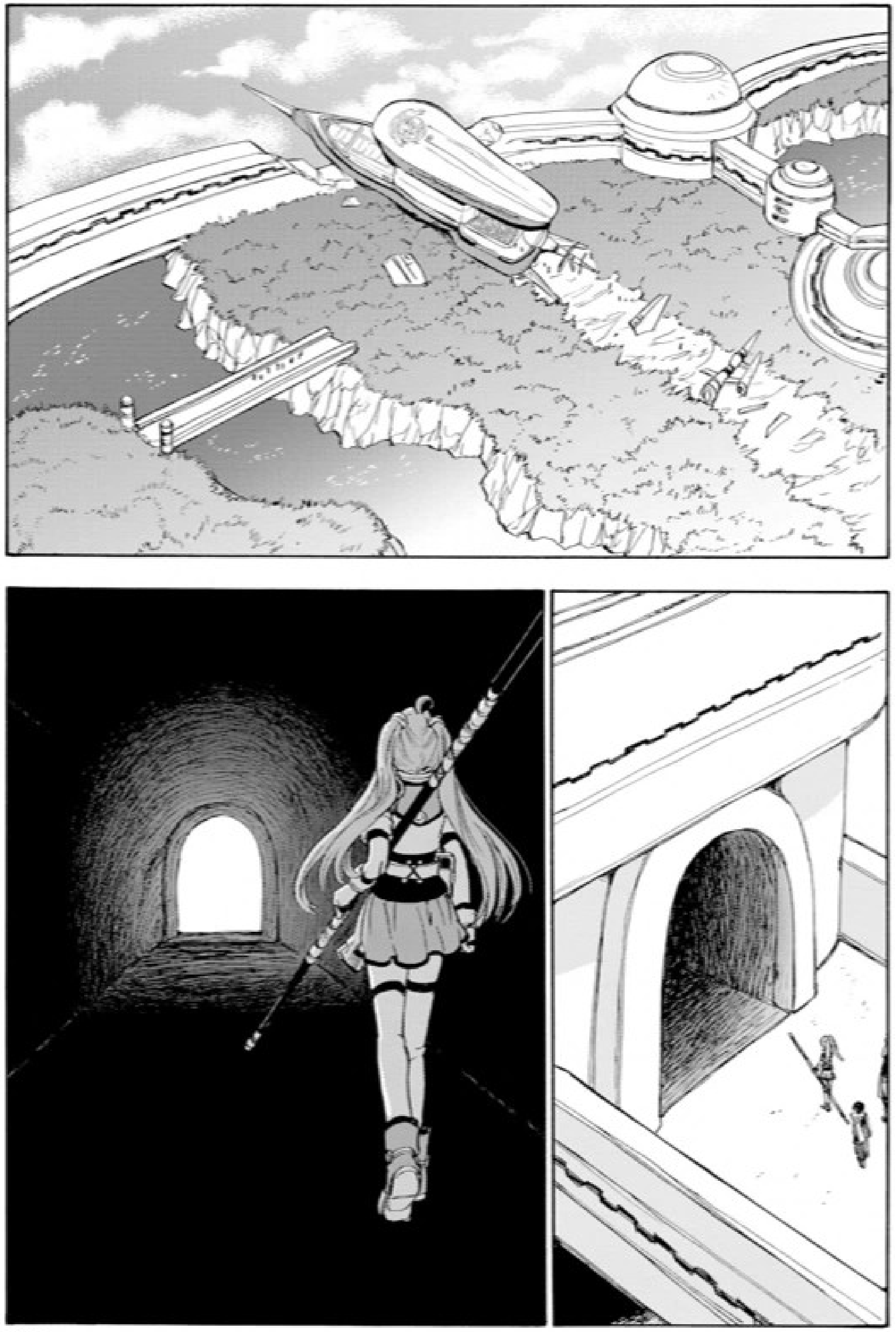

アルセイユが…
壊れちゃってる…
そんな…どうして!?
おじいちゃんたちの整備は完璧だったはずなのに…！

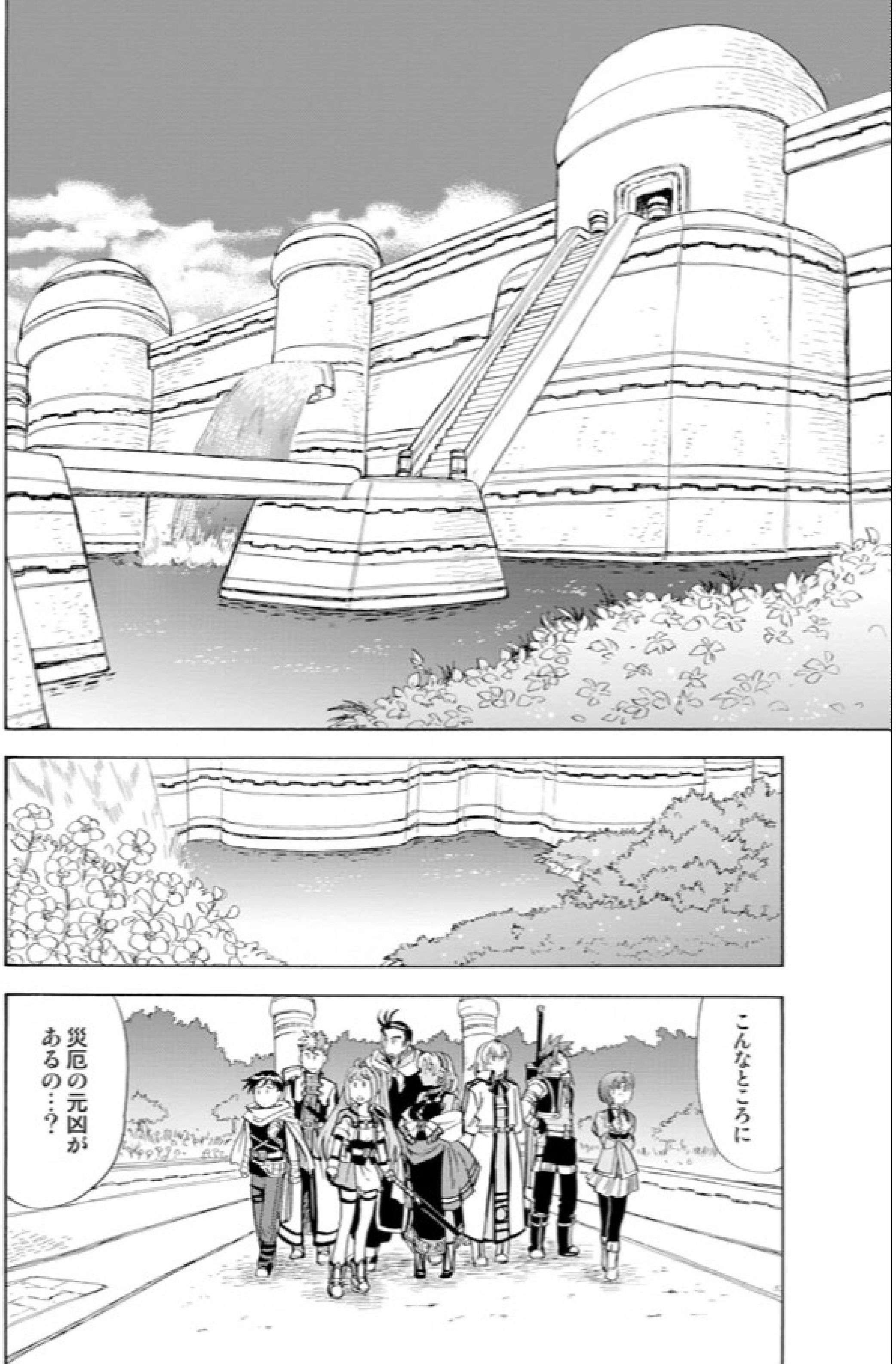
なんらかの外的トラブルが起きたとしか考えられんが…
このままではまともに浮き上がることもできん
この状況下でこれは相当にまずいじゃろう
とにかく…アルセイユの修理じゃ!
みな!
手を貸してくれ!
は…はいっ!
あのー
さっき空から落っこちる前にー
アルセイユの横を変なものが通り過ぎていったんだけどー
すいーっと
ああ
間違いないよ
えー
その変なののせいでアルセイユが墜落したっていうの?

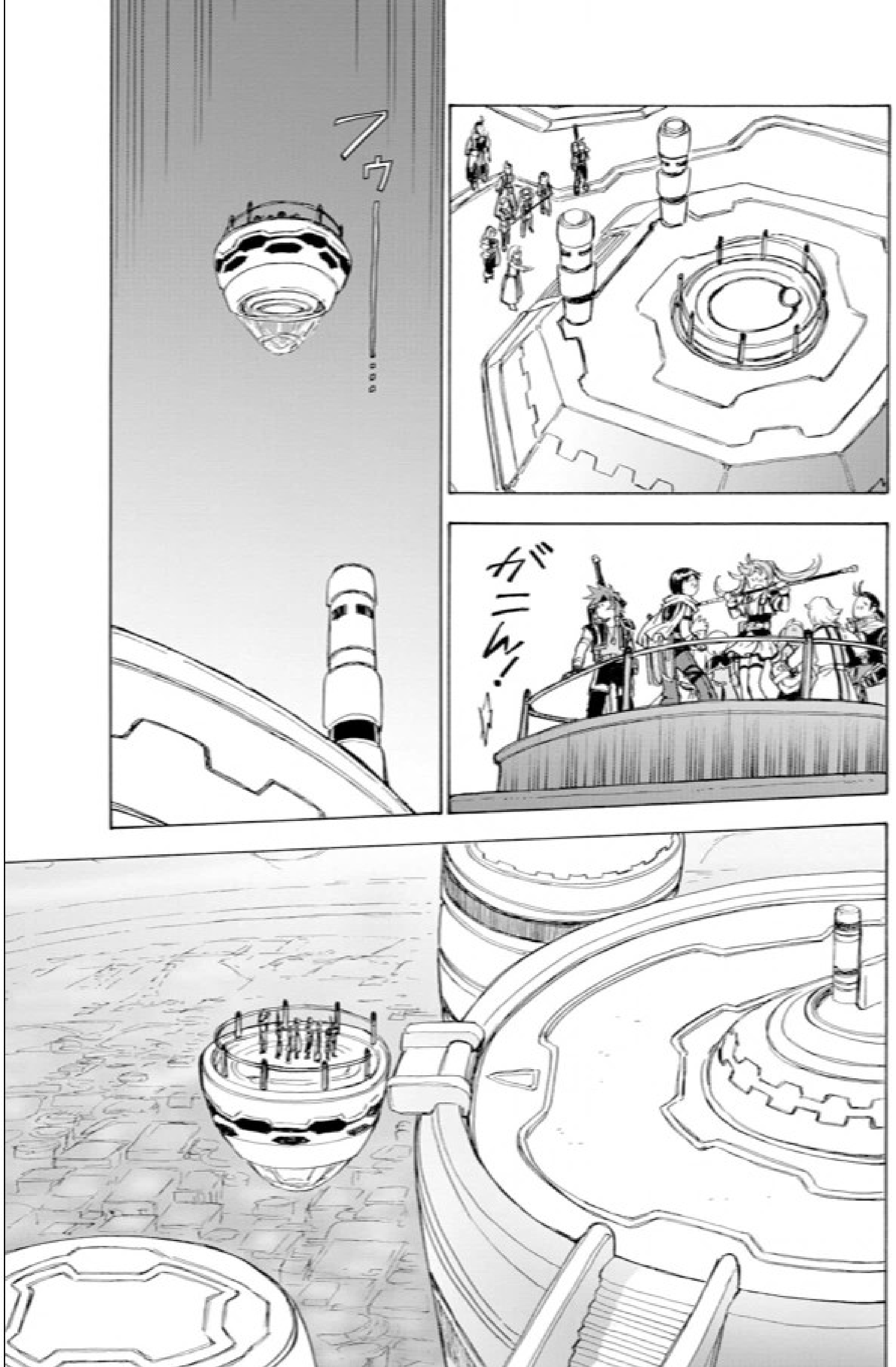
空飛ぶ船をすれ違いざまにたたき落とす
そんなことができるのは
結社の中でもレーヴェ以外にありえない
結社はすでにここに来て
着々と準備を進めているんだ
これは彼らから僕たちへの
宣戦布告だよ

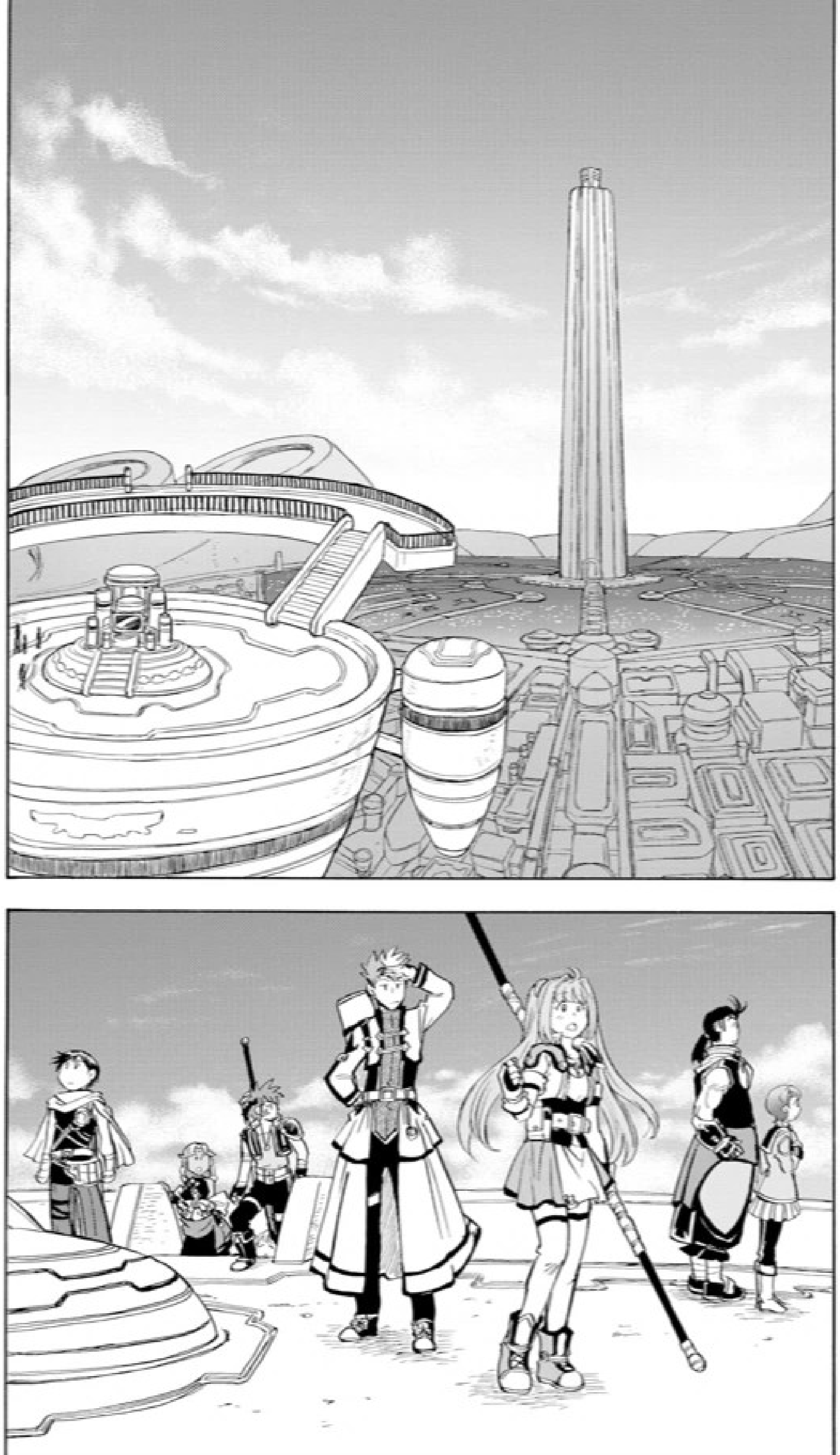
だとしたら悠長にやってる場合ではなさそうだ
はい
彼らの手に《輝く環》が渡ったらどのようなことになってしまうか
どう考えてもロクなことにはならないでしょうね
ごめん！ラッセル博士！
あたしたち
行ってきていい!?
結社の計画はあたしたちが
必ず阻止してみせるから！

無論じゃ！行ってこい！
アルセイユはわたしたちがちゃんと直しておくからね！
諸君らの命綱は我々が守る！
こちらのことは気にせず己の任務を全うしてくれ！
くれぐれも気をつけて！
よろしく頼む！
ありがとう！
行ってきます！



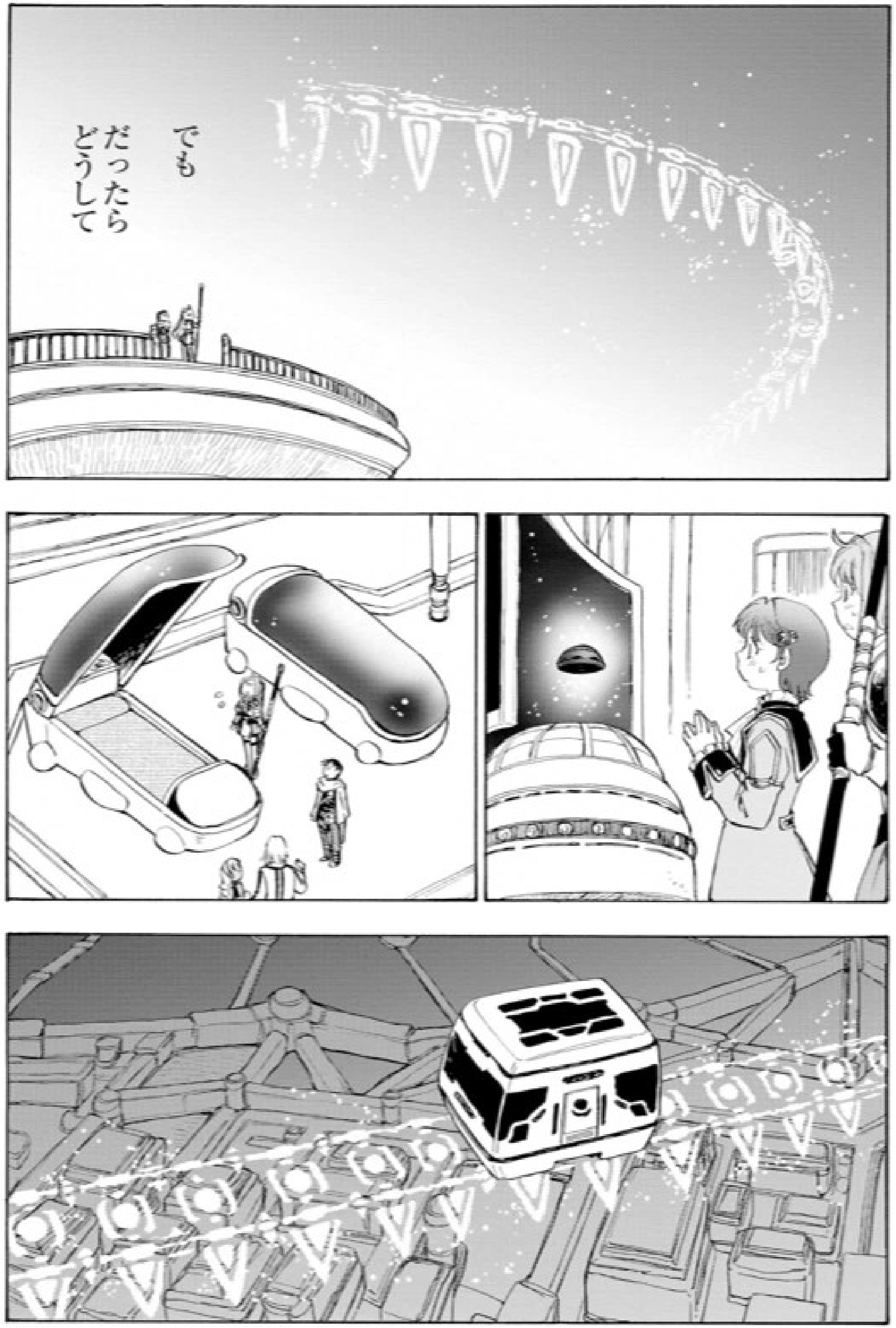

こんなところに
災厄の元凶があるの…？

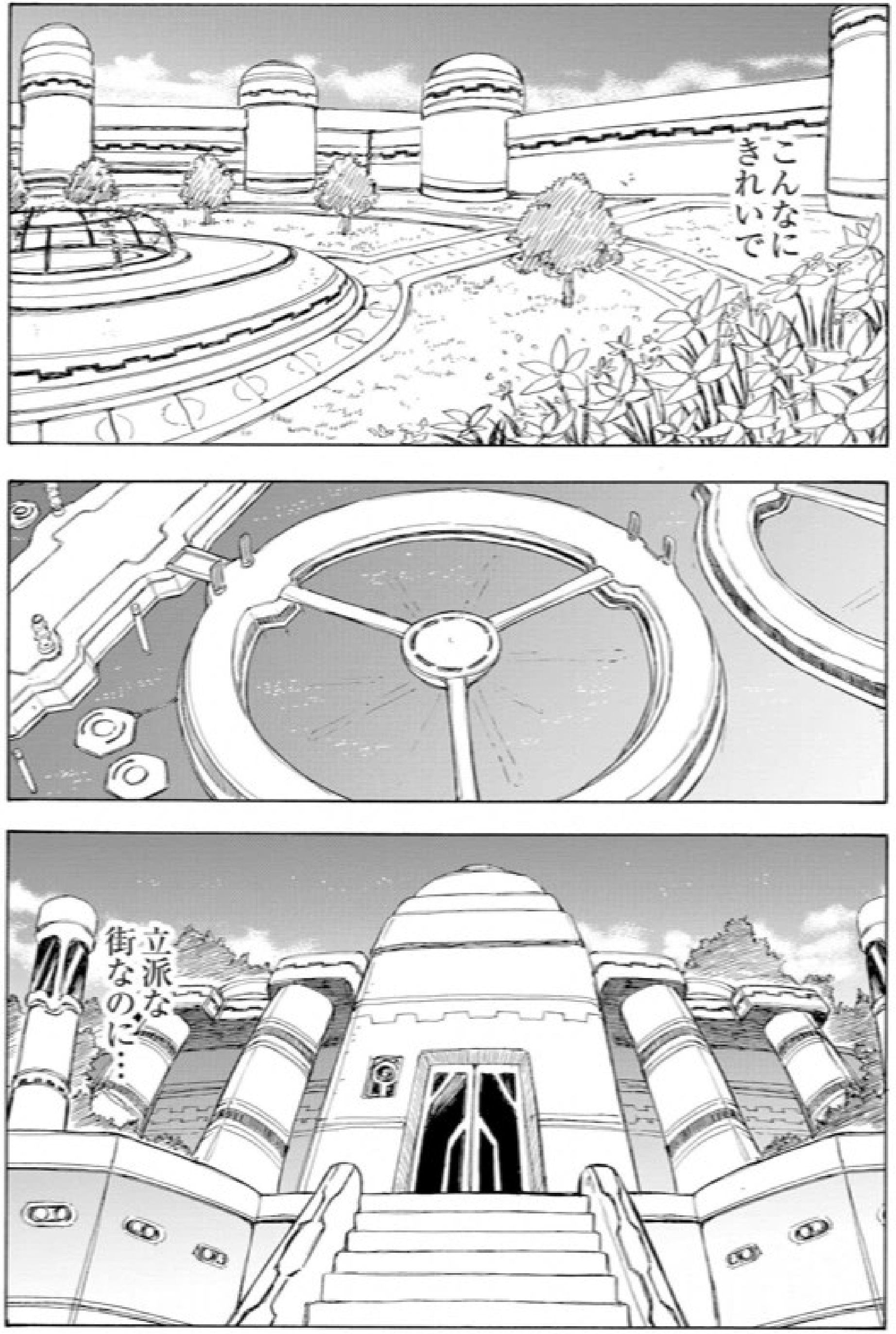

フゥー……
がーん！

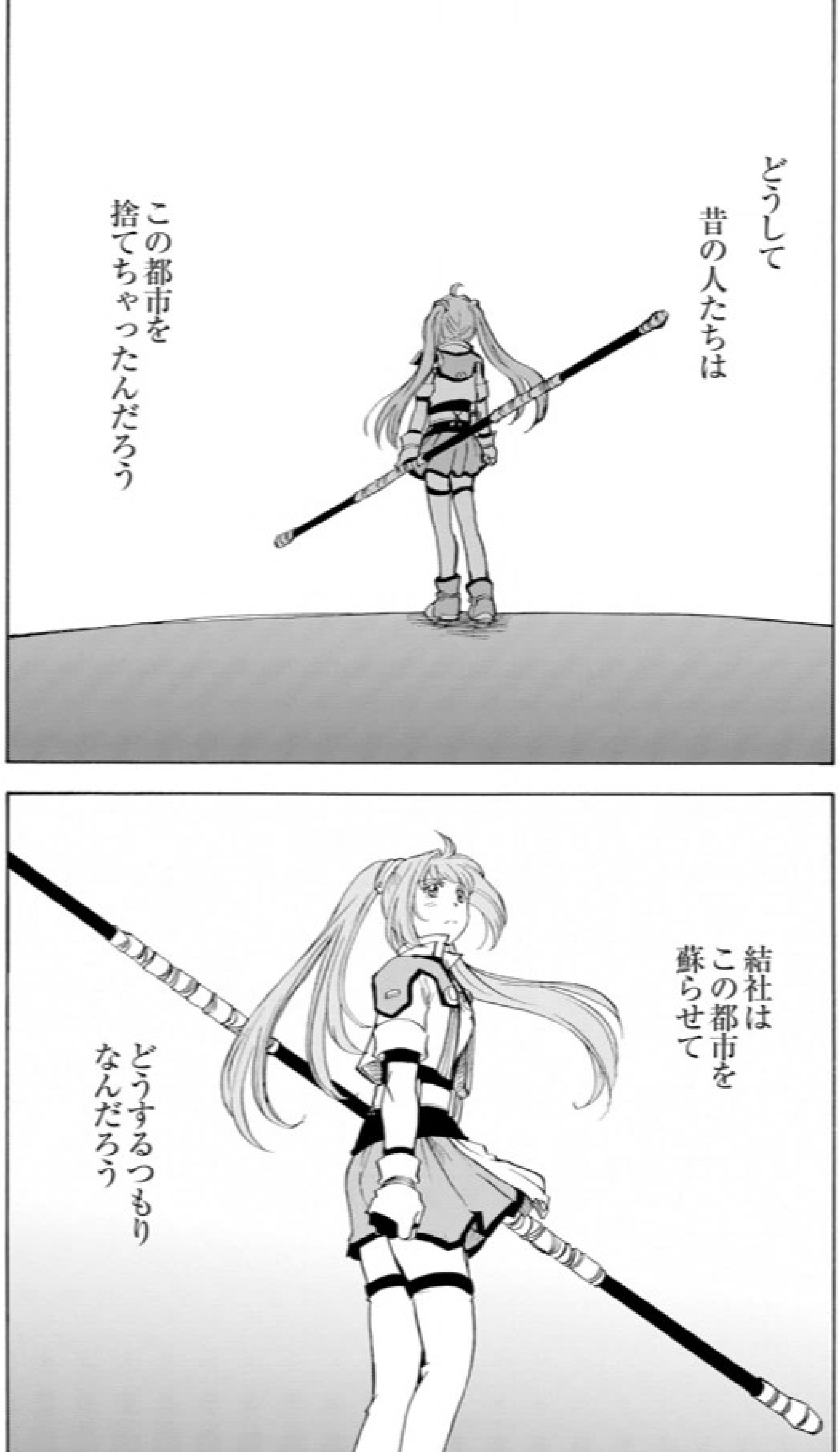


ここって…もしかして街…なのかな
そやね
大崩壊前まで古代人が暮らしてた古代ゼムリア文明の大都市…やったんやろな
もう人は住んでないの?
たぶんね
《輝く環》と共に封印された時に住民のほとんどは退去したらしい
…どうやらこの浮遊都市の名前は
《リベル・アーク》というみたいだ
リベル…
なんだか響きが似てるな
はい…
もしかして「リベール」の語源なんでしょうか…
だとしたら

ここは
リベール王国のルーツ
あたしたちのご先祖様が住んでた街だったんだ


でも
だったら
どうして


こんなに
きれいで
立派な
街なのに…


どうして 昔の人たちは
この都市を 捨てちゃったんだろう
結社は この都市を 蘇らせて
どうするつもり なんだろう

ようこそ 遊撃士諸君
諸君が来ることを 想定して ここに メッセージを 残させてもらった
「福音計画」は 最終局面に移行し
《輝く環（オーリオール）》が真に 目覚めるのも近い

中枢塔の頂上まで
たどり着くことが
できれば
諸君に
《環》の復活を
見せてあげよう
楽しみに
待っているよ

英雄伝説 空の軌跡SC
～絆の在り処～ ⑥

著　者　啄木鳥しんき
原　作　日本ファルコム

発行人　田中一寿
発　行　株式会社フィールドワイ
〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台３－１－９日光ビル３Ｆ
TEL 03-5282-2211（代表）

カバーデザインワーク　啄木鳥しんき
本文・装丁フィニッシュワーク　武田崇廣（Techno Deco Co.,Ltd.）

本書の全部または一部を複写（コピー）することは、著作権法上の例外を除き、禁じられております。

©Nihon Falcom Corporation. All rights reserved.
©KITSUTSUKI SHINKI
©2021 FIELD-Y